

農 薬 抄 録

(一般名) : ペルメトリン

(殺虫剤)

(作成年月日) 昭和 57 年 8 月 10 日

(改訂年月日) 昭和 63 年 6 月 22 日改訂

平成 3 年 4 月 15 日改訂

平成 9 年 8 月 28 日改訂

平成 13 年 11 月 22 日改訂

平成 21 年 1 月 19 日改訂

平成 29 年 8 月 18 日改訂

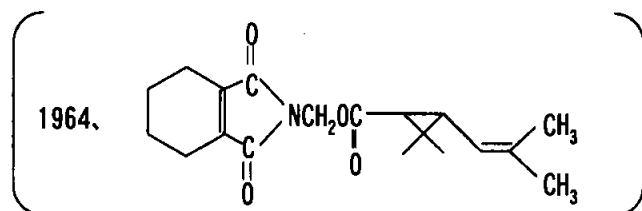
(作成会社名) 住友化学株式会社

目 次

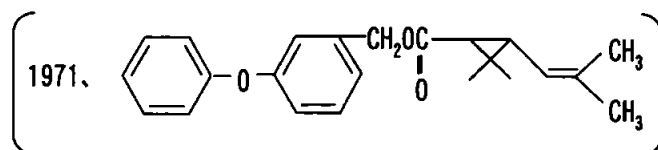
I. 開発の経緯	1
II. 物理的・化学的性状	4
III. 生物活性	22
IV. 適用及び使用上の注意	24
V. 残留性及び環境中予測濃度算定関係	38
VI. 有用動植物等に及ぼす影響	76
VII. 使用時安全上の注意、解毒等	98
VIII. 毒性	101
A. 原体を用いた試験成績	
1. 急性毒性	110
2. 皮膚及び眼に対する刺激性	118
3. 皮膚感作性	120
4. 急性神経毒性	122
5. 亜急性毒性	130
6. 反復経口投与神経毒性	150
7. 慢性毒性及び発癌性	155
8. 繁殖性に及ぼす影響及び催奇形性	270
9. 変異原性	301
10. 生体の機能に及ぼす影響	324
11. 解毒法および治療法	332
12. その他資料	334
B. 原体混在物及び代謝物を用いた試験成績	348
C. 製剤を用いた試験成績	354
IX. 動植物及び土壌等における代謝分解	415
X. その他参考資料	492

I. 開発の経緯

住友化学株式会社は、1952年、最初の合成ピレスロイド殺虫剤であるアレスリンの工業化に成功して以来、合成の簡素化、あるいは速効性増強を目標にアルコール部分の構造改変を研究してきた。その結果、天然ピレトリンに優る速効性(ノックダウン効果)を備えたフタルスリン(テトラメスリン)

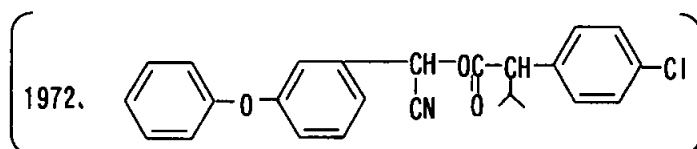


を発見し、エアゾールの速効性成分として供給した。さらに、光に対する安定性と合成上の経済性の改良に努力した結果、農業用ピレスロイドとして、致死活性の強いフェノトリン



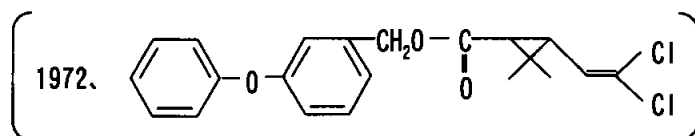
を発見した。

このように、アルコール側にフェノキシベンジルアルコールを起用することにより、当初の目的を達成することができたが、いずれも酸部分は、共通してシクロプロパン環をもつ菊酸エステルであり、農業用殺虫剤として、野外で実用に供するには、この酸部分を改変し、更に光安定性を高め、なおかつ安価な化合物を創製する必要があった。住友化学工業株式会社の研究スタッフは、前記の研究に基づいて酸部分をシクロプロパン環の代わりにフェニル酢酸誘導体を用いることにより、光に対してより安定で高活性のフェンバレレート



を発見した。

時期を同じくして、M Elliottらが同様な目的で酸部分の構造改変に取り組んだ結果、ジクロロビニル菊酸を用いることによって、フェンバレレートと同様な光に対して安定で高活性の化合物群を発見した。これら一群のジクロロビニル菊酸エステルの中から選び出したものが本品、ペルメトリン



である。住友化学株式会社は

NRDC (英国国立技術開発公団) より本品の日本での開発実施権を取得し、1977年に、家庭防疫用殺虫剤として原体、乳剤、エアゾール、くん煙剤の製造承認を得て、上市実用化している。その評価は、極めて優れた致死効力、残効性さらには有機りん系殺虫剤の抵抗性害虫に高い効果を示しており、衛生的な環境の確保に現在大いに貢献している。

農業用殺虫剤としての検討は、1975年から日本植物防疫協会の委託試験により、果樹、野菜、茶に寄生する様々な害虫に対し優れた防除効果を示すことが確認され、農業用殺虫剤としては「アデイオン」の商品名で幅広く使用されている。

なお、ペルメトリンは、1999年JMPRで評価され、ADI: 0~0.05mg/kg体重/日 (5mg/kg体重/日 (ラット慢性毒性試験のNOAEL) × 1/100) が設定され、AR(D)は設定不要となった。また、米国EPAではADIおよびAR(D)が 0.25mg/kg体重/日 (25mg/kg体重/日 (ラット急性神経毒性試験のNOAEL) × 1/100) と評価された。

諸外国における販売状況 (2006)

国名	販売分野			有効成分投下量 (kg; l/ha)
	棉	野菜	果樹	
インドネシア	○			0.02
		○		0.06~0.15
ベトナム	○			0.15
		○		0.15
タイ		○		0.15
フィリピン		○		0.02
マレーシア		○		0.12
インド		○		0.13
パキスタン		○		0.13
コスタリカ		○		0.1
メキシコ	○			0.08~0.10
		○		0.08~0.10
			○	0.10
アメリカ	○			0.11~0.14
		○		0.10~0.20
カナダ		○		0.09~0.11
			○	0.19
ブラジル	○			0.08~0.13
		○		0.02~0.06
コロンビア	○			0.15
		○		0.19
エクアドル		○		0.09
ベネズエラ	○			0.09
チリ		○		0.10
			○	0.13

II. 物理的・化学的性状

1. 有効成分の名称及び化学構造

	和名	英名
一般名	ペルメトリン (ISO名)	permethrin (ISO名)
化学名	3-フェノキシベンジル=(1 <i>RS</i> , 3 <i>RS</i>)-(1 <i>RS</i> , 3 <i>SR</i>)-3-(2,2-ジクロロビニル)-2,2-ジメチルシクロプロパンカルボキシラート (MAFF名)	3-phenoxybenzyl (1 <i>RS</i> , 3 <i>RS</i>)-(1 <i>RS</i> , 3 <i>SR</i>)-3-(2,2-dichlorovinyl)-2,2-dimethylcyclopropanecarboxylate (MAFF名)
	3-フェノキシベンジル (1 <i>RS</i> , 3 <i>RS</i> ; 1 <i>RS</i> , 3 <i>SR</i>)-3-(2,2-ジクロロビニル)-2,2-ジメチルシクロプロパンカルボキシラート (IUPAC名)	3-phenoxybenzyl (1 <i>RS</i> , 3 <i>RS</i> ; 1 <i>RS</i> , 3 <i>SR</i>)-3-(2,2-dichlorovinyl)-2,2-dimethylcyclopropanecarboxylate (IUPAC名)
構造式		
分子式	C ₂₁ H ₂₀ Cl ₂ O ₃	
分子量	391.29	
CAS No.	52645-53-1	

2. 有効成分の物理化学的性状

項目	測定値 (測定条件)	測定方法/試験機関/ GLP(報告年)
色調	白色	表面色の視感比較方法 (JIS Z 8723)/住化分析センター/ GLP(2000)
形状	固体 (粉末)	官能法/住化分析センター/ GLP(2000)
臭気	無臭 (室温)	官能法/住化分析センター/ GLP(2000)
密度	1.099 g/cm ³ (25℃)	比重瓶法 (OECD TG 109) /住化分析センター/ GLP(2000)
融点	43.8-46.1℃	キャピラリー法 (OECD TG 102) /住友化学/GLP(2000)
沸点	分解のため測定不能	示差熱分析法 (OECD TG 103)/ 住化分析センター/GLP(2000)

項目	測定値 (測定条件)	測定方法/試験機関/ GLP(報告年)	
蒸気圧	6.82×10 ⁻⁷ Pa (25℃)	気体流動法(OECD TG104) /Ricerca/GLP(2000)	
解離定数 (pKa)	水溶解度が低く、紫外可視吸収スペクトルの酸性およびアルカリ性での測定にて可逆的なスペクトル変化が認められなかった為、実施せず。	-	
溶解度	水	11.1 μg/L (20℃)	
	有機溶媒	n-ヘキサン	> 1000 g/L (20℃)
		トルエン	> 1000 g/L (20℃)
		ジクロロメタン	> 1000 g/L (20℃)
		アセトン	> 1000 g/L (20℃)
		メタノール	51.7 g/L (20℃)
		酢酸エチル	> 1000 g/L (20℃)
オクターノール/水分配係数 (log Pow)	log Pow = 6.36 (室温)	フラスコ振とう法 (OECD TG107) / 住友化学 / Non-GLP (1984)	
生物濃縮性	・ブルーギル 濃縮係数 (BCF _{ss}) 50 ・ナマズ 濃縮係数 (BCF _{ss}) 107	連続流水式/ EG & G, Bionomics /Non-GLP(1976)	
土壌吸着係数	土壌への吸着能が高く、水層中ペルメトリンの測定が不可能であったため、吸着係数は測定不能。	OECD TG106 /化学分析コンサルタント/ Non-GLP(1994)	
加水分解性	pH 4 及び pH 7 : 安定 pH 9 : t _{1/2} = 34.5~42.3 日 (25℃)	12 農産 8147 号, 2-6-1 /PTRL-West/GLP(2005)	
	t _{1/2} = 1年以上 (25℃、pH 4)、 1年以上 (25℃、pH 7)、 43.5 日 (25℃、pH 9)	住友化学/Non-GLP(1976)	
水中光分解性	緩衝液 (pH 4, 滅菌) t _{1/2} = 91.2 日 (シス体)、 145.3 日 (トランス体) (47.2 W/m ² 、 測定波長範囲: 300~400 nm)	12 農産 8147 号, 2-6-2 /PTRL-West/GLP(2005)	
	フミン酸水溶液 (滅菌) t _{1/2} = 57.8 日 (シス体)、 100.7 日 (トランス体) (47.2 W/m ² 、 測定波長範囲: 300~400 nm)		
	蒸留水(滅菌) t _{1/2} = 約 40 日 (24.6 W/m ² 、25℃、 測定波長範囲: 310~400 nm)	暫定指導指針 /化学分析コンサルタント/ Non-GLP(1994)	
	自然水(河川水) t _{1/2} = 約 30 日 (24.6 W/m ² 、25℃、 測定波長範囲: 310~400 nm)		

項目	測定値 (測定条件)	測定方法/試験機関/ GLP (報告年)
安定性 (対熱)	熱的に安定	熱重量分析(OECD TG 113) / 住化分析センター / GLP (2000)
スペクトル UV/VIS 赤外吸収 ¹ H-NMR、 ¹³ C-NMR 質量スペクトル	図 1~4 および表 1~5 参照	OECD TG 101/住友化学/ GLP (2000)
		通達法/住友化学/GLP (2000)
		通達法/住友化学/GLP (2000)
		通達法/住友化学/GLP (2000)

注) オクタノール/水分配係数、生物濃縮性、土壌吸着係数、加水分解性 (住友化学、1976)、水中光分解性 (化学分析コンサルタント、1994) はシス/トランス体、加水分解性 (PTRL-West、2005) と水中光分解性 (PTRL-West、2005) はシス体およびトランス体、その他の測定項目はトランス体の結果である。

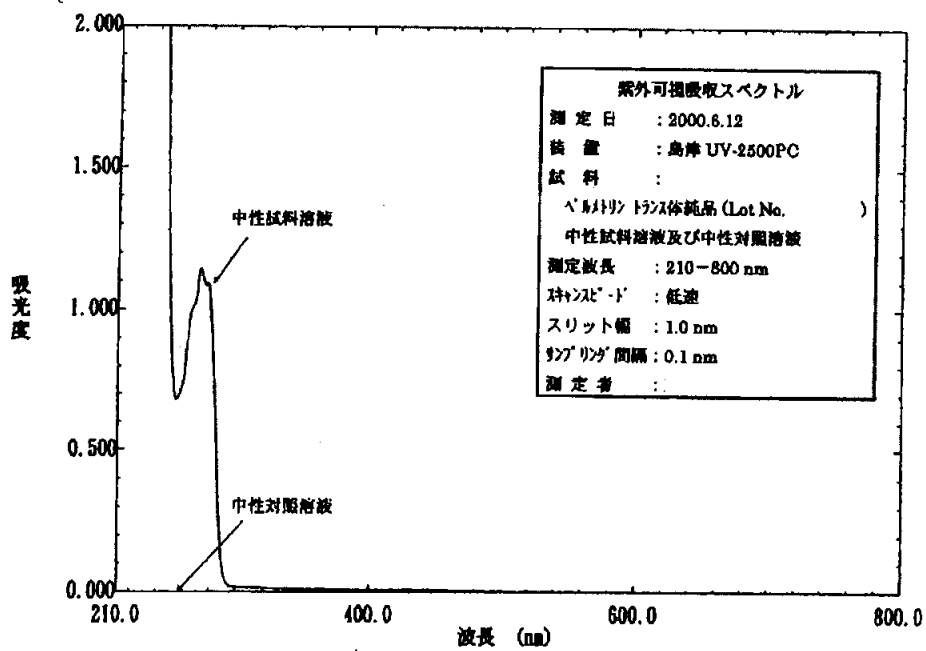


図 1-1 ペルメチル tin トランス体純品の中性試料溶液の紫外可視吸収スペクトル

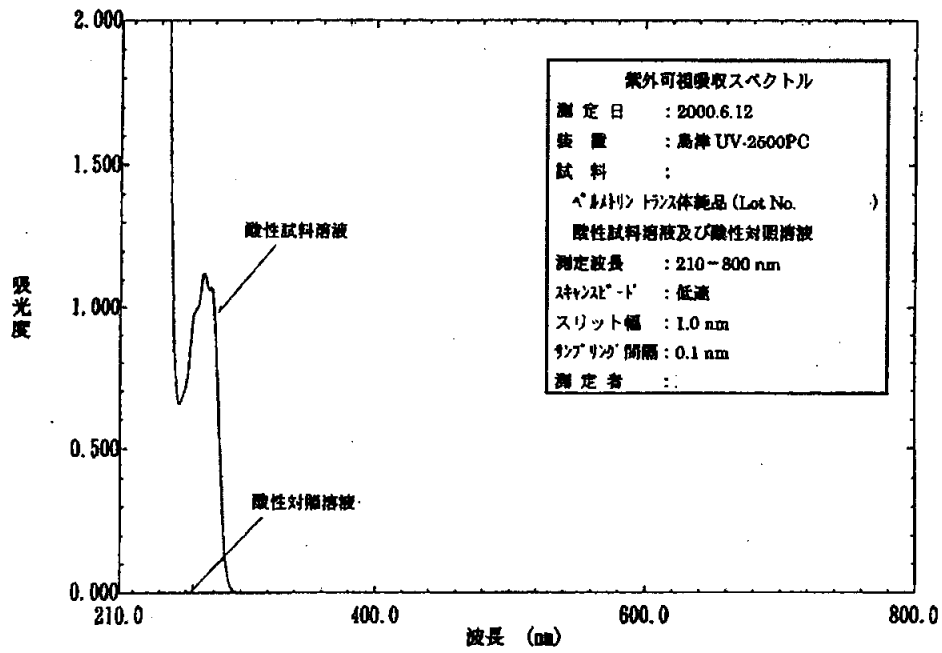


図 1-2 ペルメリン トランス体純品の酸性試料溶液の紫外可視吸収スペクトル

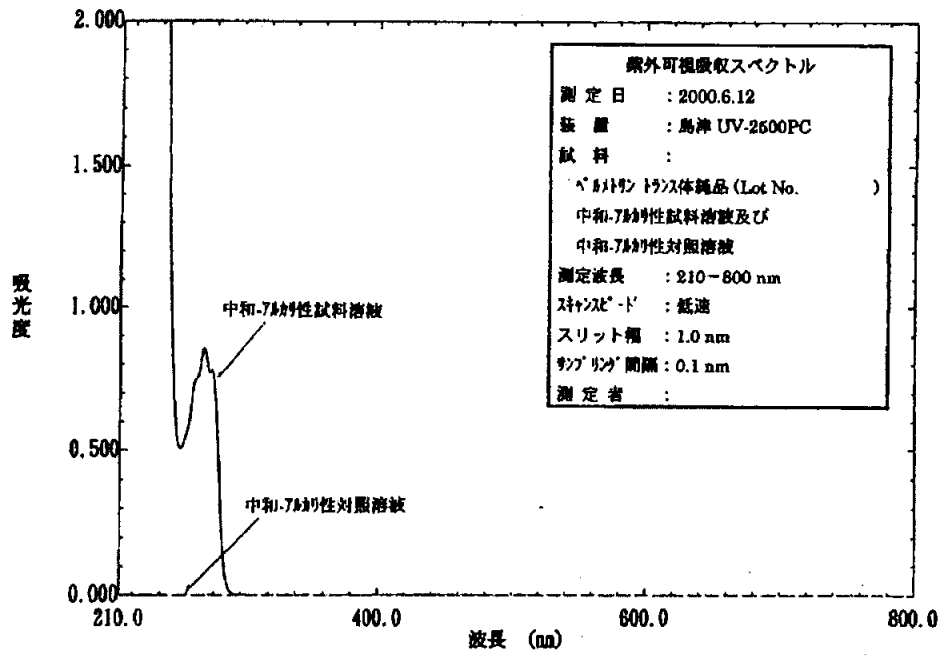


図 1-4 ペルメチル tin トランス体純品の中和後のアルカリ性試料溶液の紫外可視吸収スペクトル

表1 ペルメトリン トランス体純品の紫外可視吸光スペクトルの結果

試験溶液	溶媒比 (v/v)	最大吸収波長 (nm)	モル吸光係数 (ϵ)
中性溶液	メタノール	277.7	1.90×10^3
		272.4	1.99×10^3
酸性溶液	1M HCl/メタノール(1/9)	277.7	1.87×10^3
		272.3	1.95×10^3
アルカリ性溶液	1M NaOH/メタノール(1/9)	278.1	1.69×10^3
		271.9	1.87×10^3
アルカリ性溶液中和溶液	1M NaOH/メタノール(1/9)	277.9	1.70×10^3
		271.9	1.86×10^3

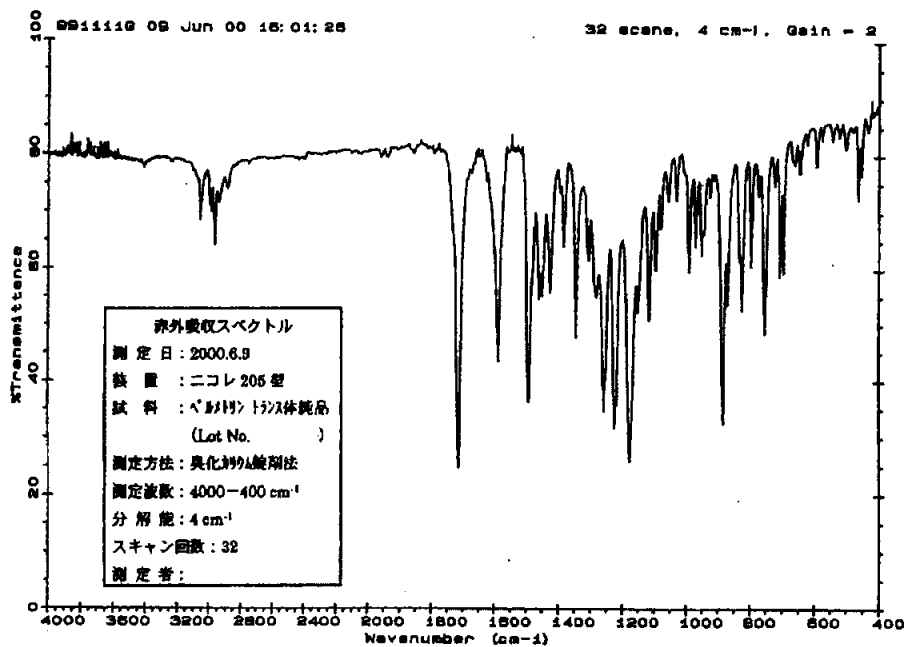


図 2 ペルメチル tin トランス体純品の赤外吸収スペクトル

表 2 ペルメチル tin トランス体純品の赤外吸収スペクトルにおける主な吸収帯の帰属

吸収帯の波数 (cm ⁻¹)	帰属
1709.4	エステル ν (C=O)
1584.5、1487.4	ベンゼン環 ν (C-C)
1254.3	エーテル ν (C-O)
1173.6	エステル ν (C-O-C)
1111.8	シクロプロパン環 ν (C-C)

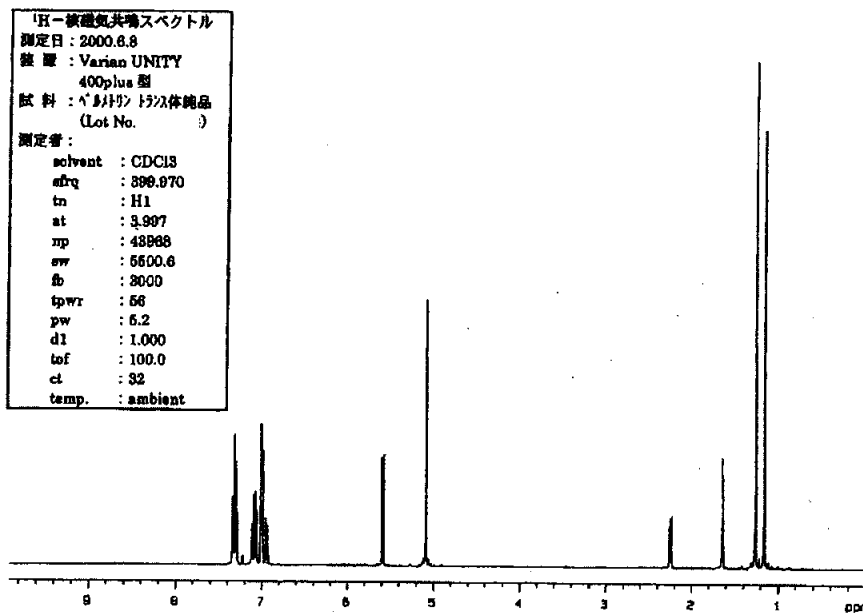


図 3-1 ペルメトリン トランス体純品の核磁気共鳴スペクトル(¹H-NMR)

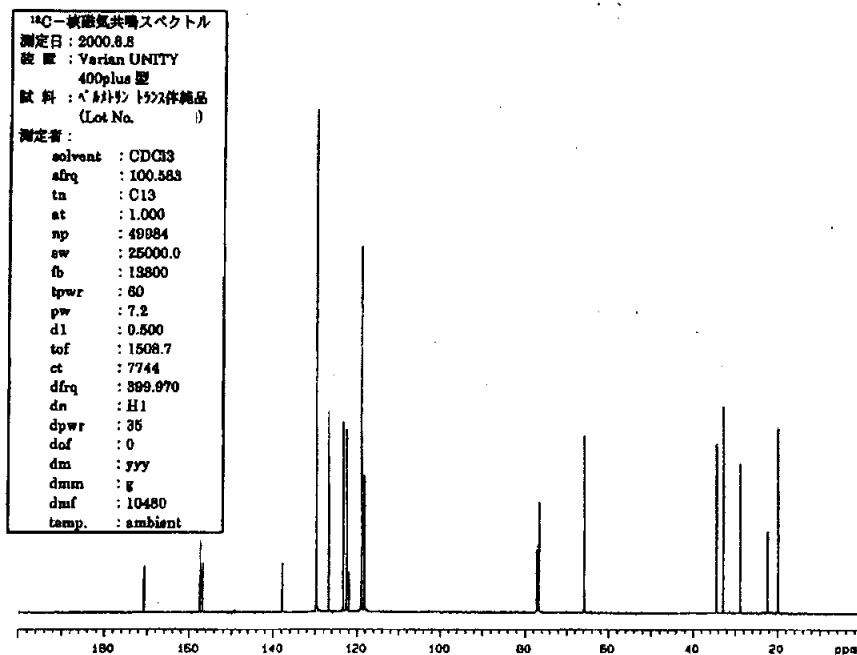


図 3-2 ペルメトリン トランス体純品の核磁気共鳴スペクトル(¹³C-NMR)

表 3-1 ペルメトリン トランス体純品の ¹H-NMR スペクトルにおけるシグナルの帰属

化学シフト (ppm)	多重度	プロトン数	帰属
1.17	一重線	3	4 又は 5
1.27	一重線	3	4 又は 5
1.64, 1.65	二重線	1	3
2.24, 2.25, 2.26, 2.27	二重の二重線	1	2
5.09	一重線	2	6
5.58, 5.60	二重線	1	1
6.93~7.12, 7.29~7.35	多重線	9	7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15
7.23	一重線	—	クロロホルムのプロトン

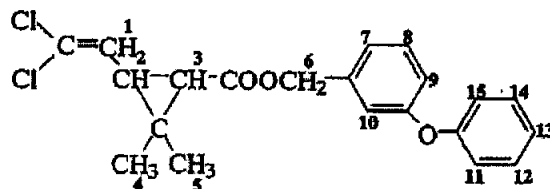
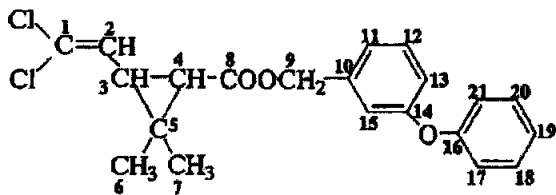


表 3-2 ペルメトリン トランス体純品の ^{13}C -NMR スペクトルにおけるシグナルの帰属

化学シフト (ppm)	帰属
20.0	6 又は 7
22.5	6 又は 7
29.0	5
32.9	3
34.6	4
65.9	9
118.2, 118.4, 119.0, 122.6 123.4, 129.7, 129.8	11, 12, 13, 16, 17, 18, 19, 20, 21
122.0	1
126.8	2
187.9	10
156.8	14 又は 16
157.5	14 又は 16
170.8	8
76.7, 77.0, 77.3	クロロホルムのカーボン



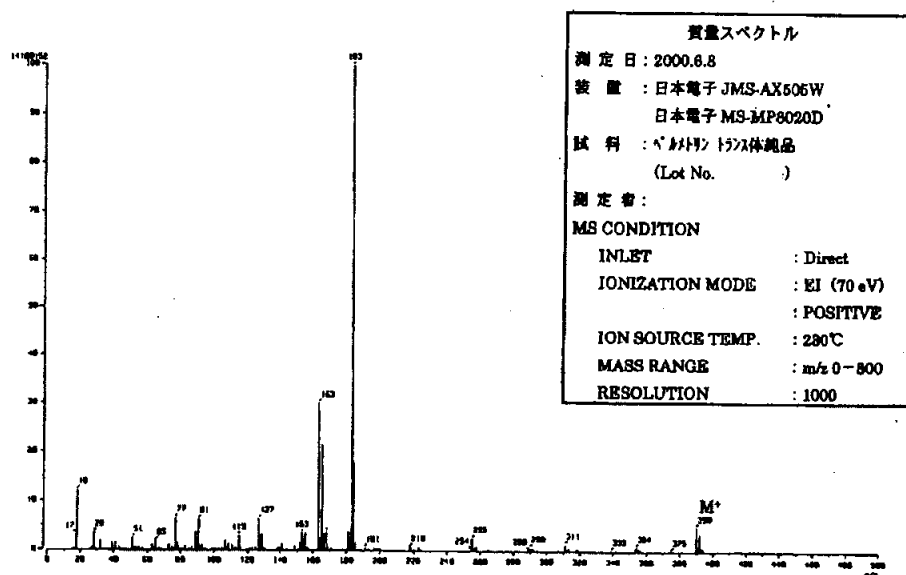


図4 ペルメトリン トランス体純品の質量スペクトル

*申請者注: 測定質量範囲は m/z 0~800 だが、m/z 500~800 にピークがなかった為、チャート出力は m/z 0~500 とした。

表4 ペルメトリン トランス体純品の質量スペクトルの主なフラグメントイオンの帰属

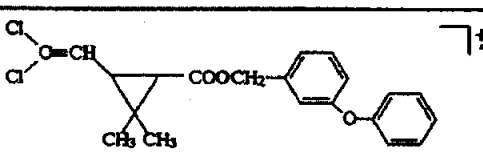
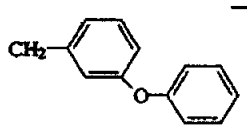
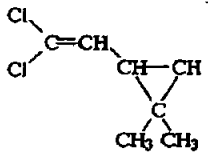
質量数 (m/z)	相対強度 (%)	帰属
390	5	
183	100	
163	30	

表5 各種スペクトルの測定条件

スペクトル	測定条件
UV/VIS	機器：紫外可視分光光度計（島津製作所製 UV-2500PC 型） 操作波長範囲：210～800nm スキャン速度：低速 スリット幅：1.0nm サンプリングピッチ：0.1nm
赤外吸収	機器：赤外分光光度計（ニコレ社製 FT-IR205 型） 波数範囲：400～4000cm ⁻¹ 積算回数：32 回 分解能：4 cm ⁻¹
¹ H-NMR、 ¹³ C-NMR	機器：核磁気共鳴スペクトル測定装置（バリアン社製 UNITY 400plus 型） 観測核： ¹ H 核共鳴周波数 400MHz、 ¹³ C 核共鳴周波数 100MHz 化学シフトの基準：TMS の ¹ H 化学シフト、 ¹³ C 化学シフトをそれぞれ 0.00ppm とした
質量	機器：質量分析計（日本電子製 JMS-AX505W 型） イオン化方式：電子衝撃イオン化法(EI 法) 測定モード：EI(70eV) 測定質量範囲：m/z 0～800 乾燥ガス温度：230℃

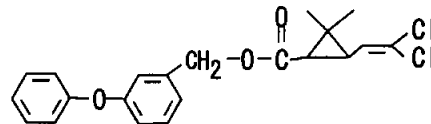
3. 原体の成分組成

区分	名称		構造式	分子式	分子量	含有量(%)	
	一般名	化学名				規格値	通常値 またはレンジ
有効成分	ペルメトリン	X	X'	C ₂₁ H ₂₀ Cl ₂ O ₃	391.29		
	trans 比						
原体 混在物							

註)・化学名、構造式は以降に記載。

化学名、構造式

X, X' (ペルメトリン) : 3-フェノキシベンジル-(1R,3R)-(1R,3SR)-3-(2,2-ジクロロビニル)-2,2-ジメチルシクロヘキサノンキラル体



本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は住友化学株式会社にある。

4. 製剤の組成

(1) 20%乳剤 (アディオン乳剤)		
ペルメトリン		20.0%
有機溶剤、界面活性剤等		80.0%
(2) 1.0%乳剤 (花ベジタ 100)		
ペルメトリン		1.0%
水、有機溶剤、界面活性剤等		99.0%
(3) 0.01%乳剤 (花ベジタ)		
ペルメトリン		0.01%
水、有機溶剤、界面活性剤等		99.99%
(4) 0.01%乳剤 (野菜用ハンドスプレー)		
ペルメトリン		0.01%
水、界面活性剤等		99.99%
(5) 20%水和剤 (アディオン水和剤)		
ペルメトリン		20.0%
鉱物質微粉、界面活性剤等		80.0%
(6) 10%水和剤 (アディオンフロアブル)		
ペルメトリン		10.0%
水、有機溶剤、界面活性剤等		90.0%
(7) 10%マイクロカプセル剤 (エンバーMC)		
ペルメトリン		10.0%
水、有機溶剤等		90.0%
(8) 0.03%液剤 (花木用ハンドスプレー)		
ペルメトリン		0.03%
水、界面活性剤等		99.97%
(9) 0.01%液剤 (ベジタメートAL)		
ペルメトリン		0.01%
水、界面活性剤等		99.99%

(10)0.01%エアゾル剤 (カダンV)	
ペルメトリン	0.01%
有機溶剤、界面活性剤、噴射剤等	99.99%
(11)0.2%エアゾル剤 (園芸用キンチョールE)	
ペルメトリン	0.2%
水、界面活性剤、噴射剤等	99.8%
(12)0.1%粒剤 (ガードベイトA、野菜ひろばN)	
ペルメトリン	0.1%
殻粉、鉍物質微粉等	99.9%

III 生物活性

1. 作用機構

ペルメトリンの昆虫に対する殺虫機構については、天然ピレトリンやアレスリン等のピレスロイドと同様に主として気門や関節間膜等から虫体内侵入し、末梢又は中枢神経の軸索あるいはシナプスに働き、反復興奮を起こし、けいれんや興奮症状に導き、ついで麻痺し、死にいたるものと推定される。

2. 活性範囲

ペルメトリンは、前記のような作用機構により殺虫活性を示すが、その活性範囲は広く、果樹、野菜、茶等の多種類の害虫に対し、有効である。一般的に鱗翅目、半翅目(但し、カイガラムシ類を除く)および双翅目害虫に対して活性が強く、有機りん剤の数倍以上の強い活性を示し、鞘翅目膜翅目およびカイガラムシ類にはやや弱い傾向が見られる。

殺虫活性以外に、致死薬量以下の投与量において、忌避作用や飛び出し現象(ブラッシング効果という)がみられ、作物の被害防止に有効である。また、低薬量ではピレスロイド系化合物の通性としてノックダウン後の蘇生をみることもある。

3. 作用特性と防除上の利点

ペルメトリンの作用特性は、速効的麻痺作用(ノックダウン効果)、主として接触毒性による殺虫作用(食毒あるいはガス効果は微弱)、低温ほど活性の高い傾向があり、植物体への浸透移行性がないなど、従来のピレスロイド系化合物特有の性質に加えて光安定性からくる適度な残効性、さらには摂食阻害や寄生忌避等の副次作用を備えている。

これらの特徴あるペルメトリンの作用特性は、適切有効な防除を行なうための重要な要因であり、以下にその特性を生かした防除上の利点を示す。

(1) 速効性

寄生植物からの落下仰転(ウンカ、ツマグロヨコバイ、アブラムシ等)、潜伏場所からの飛び出し現象(ゴキブリ、ミノムシ、ヨトウムシ等)などの中毒症状が、薬剤接触後数十秒から数分で現われ死にいたる。これらの急速な反応は、致死濃度以下でも発現するため、落下場所によっては、寄生植物への再寄生不能となり防除効果につながる。また、病原媒介昆虫に速効的に作用することにより、病害の感染防止が期待できる。

(2) 残効性

ピレトリン、アレスリン等のピレスロイドに比べて太陽光線に安定であり、適度の残効性

を有し、そのため害虫の発生前の予防的散布が可能となり、また、慣行薬剤にくらべ散布間隔の延長、あるいは散布回数を減少することができ、省力防除が期待できる。

(3) 副次作用

摂食阻害や寄生忌避(カメムシ類、テントウムシ類、アブラムシ類、スリップス類)、産卵抑制(クリタマバチ、コナガ、キンモンホソガ、ハモグリガ)および異常行動(ハダニ類)が、致死濃度以下でみられるため、防除上有利である。

(4) 低温における活性

昆虫に対する殺虫活性は、低温ほど高く、温度に対して負の相関性を示し、温度の下がる方向の夕方の散布が効果的である。

IV. 適用及び使用上の注意

1. 適用病害虫の範囲及び使用方法

(1) ベルメトリン 20.0%乳剤 (アディオン乳剤)

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ベルメトリンを含む農薬の総使用回数	
なし	アブラムシ類、シクイムシ類	2000~3000倍	200~700L/10a	収穫前日まで	2回以内	散布	2回以内	
	ハマキムシ類、カメムシ類	2000倍						
もも	カメムシ類			2000~3000倍	収穫7日前まで		6回以内	3回以内
	シクイムシ類、アブラムシ類							
	モモカゲリガ	2000~4000倍						
	ハマキムシ類	3000倍						
初刈り	カメムシ類	2000倍		収穫前日まで	2回以内		3回以内	3回以内
	シクイムシ類、アブラムシ類	2000~3000倍						
	モモカゲリガ	2000~4000倍						
うめ	アブラムシ類	3000倍		収穫前日まで	2回以内		2回以内	2回以内
かき	キノハクムシガ チャノキアザミウマ、カメムシ類	2000~3000倍		収穫7日前まで	5回以内		6回以内	5回以内
	カキダアザミウマ	2000倍						
柿(フルク)	キノマコガ	2000~3000倍		羽化脱出期 但し 収穫14日前まで	5回以内		6回以内	6回以内
	カメムシ類	2000倍						
くり	クリタマバチ	1000~2000倍		収穫14日前まで	6回以内		6回以内	6回以内
	クリシギザウムシ	2000倍						
かんきつ	ミカンカゲリガ、アブラムシ類	2000~4000倍		収穫前日まで	2回以内		2回以内	2回以内
	チャノキアザミウマ	2000~3000倍						
	カメムシ類	2000倍						
いちじく	アザミウマ類、アブラムシ類	3000倍		収穫7日前まで	2回以内		2回以内	2回以内
	イチジクヒトリモドキ							
はまなす (果実)	シクイムシ類	2000倍	収穫14日前まで	2回以内	2回以内	2回以内		
さるなし	キノマコガ	3000倍	収穫3日前まで					
アロニア	シクイムシ類	3000倍	収穫7日前まで	3回以内	3回以内	3回以内		
ハスカップ	ハマキムシ類、アブラムシ類	2000~3000倍	収穫前日まで					
きゅうり	オシロイソウシ、アブラムシ類 ウリハムシ		2000~3000倍	収穫7日前まで	5回以内	5回以内	5回以内	
ズッキーニ	アブラムシ類、フキノメイガ							
にがうり	アブラムシ類、カメムシ類 カハコカスミカ、ヨウムシ類 フキノメイガ	3000倍	収穫前日まで	3回以内	3回以内	3回以内		
すいか、メロン かぼちゃ	アブラムシ類							
いちご	アブラムシ類	3000倍	収穫7日前まで	3回以内	無人ロブテ による散布	3回以内		
ごぼう								
だいず	マシクイガ ジガ、イモガ、ナガアブラムシ	24倍	0.8L/10a	収穫7日前まで	3回以内	無人ロブテ による散布	3回以内	

(1) ペルメトリン 20.0%乳剤 (アディオン乳剤) のつづき

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ペルメトリンを含む農薬の総使用回数
ピーマン	アブラムシ類	2000~3000倍	100~300L /10a	収穫前日まで	5回以内	散布	5回以内
	タバコガ			収穫3日前まで			
キャベツ	アオムシ、コガ、アブラムシ類 ヨトウムシ、タナギ、シロウバ	収穫7日前まで					
はくさい	アオムシ、コガ、アブラムシ類 ヨトウムシ	2000~3000倍		収穫30日前まで	4回以内		4回以内
だいこん	アオムシ、コガ、ヨトウムシ ハマダラカ、メイガ			収穫前日まで	2回以内		4回以内 (散布は2回以内)
かぶ	アオムシ	2000倍		収穫7日前まで	3回以内		3回以内
茎ブロッコリー	コガ			収穫3日前まで	5回以内		5回以内
ブロッコリー カリフラワー	アブラムシ類	2000~3000倍		収穫3日前まで	2回以内		2回以内
非結球レタス (リーフレタスを除く)	アブラムシ類	2000倍		収穫3日前まで**	5回以内		5回以内
リーフレタス	アブラムシ類 ヨトウムシ	2000~3000倍		収穫7日前まで	3回以内		3回以内
レタス	アブラムシ類	3000倍			5回以内		5回以内
トビacco	アブラムシ類			2000倍	収穫前日まで		3回以内
たまねぎ	アザミヤカ類、ネギコガ ハスモンヨトウ						
ねぎ	アザミヤカ類、ネギコガ	2000倍		収穫前日まで	3回以内		3回以内
	シロイモジ、ヨトウ						
アスパラガス	ジユウシホシホシ、ナガハムシ	2000~3000倍	収穫14日前まで		3回以内	3回以内	
	ヨトウムシ、アブラムシ類	2000倍					
	カメムシ類	3000倍					
豆類 (未成熟、ただし さやえんどう 未成熟そらまめを 除く)	アザミヤカ類、アブラムシ類 ハモグリバエ類、ヨトウムシ類 ウナギミジミ、フキノメイガ マシクイガ	3000倍	収穫7日前まで		2回以内	2回以内	
未成熟そらまめ	収穫前日まで						
さやえんどう	ハモグリバエ、ヨトウムシ類 ウナギミジミ	4000倍	収穫14日前まで*		2回以内	2回以内	
ほうれんそう	アブラムシ類		収穫5日前まで				
しそ	ハスモンヨトウ、アブラムシ類 アザミヤカ類、コナジラミ類	4000倍					

(1) ペルメトリン 20.0%乳剤 (アディオン乳剤) のつづき

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ペルメトリンを含む農薬の総使用回数												
トマト	オンシツナジラミ	2000~3000倍	100~300L /10a	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内												
ミニトマト	アブラムシ類	3000倍			1回		1回												
なす	アブラムシ類	2000~3000倍			3回以内		3回以内												
	オンシツナジラミ テントウムシダマシ類	2000倍																	
とうがらし類	アブラムシ類	2000~3000倍			収穫7日前まで		2回以内	2回以内											
	カハコガ	2000倍																	
なばな	コガ				3回以内		3回以内												
ばれいしょ	アブラムシ類 テントウムシダマシ類	2000~3000倍			収穫14日前まで		4回以内	4回以内											
とうもろこし	アノメイガ	2000倍			収穫7日前まで		3回以内	3回以内											
	アブラムシ類	3000倍																	
あずき	アノメイガ	2000倍							収穫7日前まで	3回以内	3回以内								
	アブラムシ類	3000倍																	
やまのいも	アブラムシ類、ヤマノイモガ アザミウラ類	2000~3000倍										収穫21日前まで	5回以内	5回以内					
てんさい	ヨウムシ	2000倍																	
さといも	ハスモンヨウ														3000倍				
	アブラムシ類																		
かんしょ	イモガ	3000倍													収穫7日前まで	3回以内	3回以内		
そらまめ	アブラムシ類																		
ウラ	ハスモンヨウ、アブラムシ類 カメムシ類	2000倍													収穫前日まで				
非結球あぶらな科 葉菜類 (しろな、みずな を除く)	アオムシ														収穫前日まで*			3回以内*	3回以内*
しろな	アオムシ	2000~4000倍																	
みずな	アブラムシ類、ダイコンハムシ ヤブイロウシ	3000倍																	
	アオムシ*	2000倍*																	
つるむらさき	ヨウムシ	2000倍	収穫7日前まで	2回以内		2回以内													
食用ゆり	アブラムシ類	3000倍	収穫前日まで	5回以内		5回以内													
葉ごぼう			収穫14日前 まで	2回以内		2回以内													
食用亜麻	ヨウガ	2000倍	収穫3日前まで	3回以内		3回以内													
ごま	アブラムシ類																		

(1) ベルメトリン 20.0%乳剤 (アディオン乳剤) のつづき

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ベルメトリンを含む農薬の総使用回数
しゅんぎく	アブラムシ類 ハクサイダニ	4000倍	100~300L /10a	収穫21日前まで	2回以内	散布	2回以内
さといも (葉柄)	ハモロ柿	2000倍		収穫7日前まで			
	アブラムシ類	3000倍					
にんにく	アブラムシ類	2000倍	収穫前日まで				
茶	チャノコカゲモンハマキ	2000~3000倍	200~400L /10a	摘採14日前まで	1回		1回
	チャノミドリヒメヨコバイ チャノホリガ、チャノキロアザミウマ						
花菜類 観葉植物 (おぼろぎを除く)	カメムシ類、ハマキムシ類 ヨトウムシ類	2000倍	100~300L /10a	発生初期	6回以内		6回以内
	アブラムシ類	2000~4000倍					
はばたん	カメムシ類、ハマキムシ類 ヨトウムシ類、アオムシ	2000倍					
	アブラムシ類	2000~4000倍					
樹木類 (くちなしを除く)	カメムシ類、アブラムシ類 シヤクトリムシ類	4000~8000倍	200~700L /10a				
くちなし	アザミウマ類	2000倍					

(2) ベルメトリン 0.01%乳剤 (野菜用ハンドスプレー)

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ベルメトリンを含む農薬の総使用回数
なす トマト きゅうり	アブラムシ類	原液	収穫前日まで	3回以内	希釈せず そのまま 散布する	3回以内
だいこん	アオムシ		収穫30日前まで	4回以内		4回以内

(3) ベルメトリン 20.0%水和剤 (アディオン水和剤)

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ベルメトリンを含む農薬の総使用回数
りんご	キンモンホリガ	2000~4000倍	200~700L /10a	収穫14日前まで	2回以内	散布	2回以内
	アブラムシ類 シキイムシ類	2000~3000倍					
	キンモンホリガ ハマキムシ類	3000倍					
	モモフォキリウムシ	2000倍					
ぶどう	フタチヒメヨコバイ アメリカシロヒトリ	2000~4000倍		収穫7日前まで	5回以内		5回以内
	チャノキロアザミウマ						
	コガネムシ類						

(3) ペルメトリン 20.0%水和剤 (アディオオン水和剤) のつづき

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ペルメトリンを含む農業の総使用回数	
もも	モハモガリガ	2000~3000倍	200~700L/10a	収穫7日前まで	6回以内	散布	6回以内	
	シクイムシ類	3000倍						
なし	アブラムシ類	2000~3000倍		収穫前日まで	2回以内			2回以内
びわ		2000倍		収穫7日前まで	3回以内			3回以内
うめ	アブラムシ類 アカマダラシキスイ			収穫前日まで	2回以内			2回以内
おうとう	ショウジョウバエ類 ウチウマダラミバエ			2回以内	2回以内			2回以内
かき	カキハダムシガ	3000倍		収穫7日前まで	5回以内			5回以内
てんさい	ヨトウムシ	2000~3000倍	100~300L/10a	収穫21日前まで				
かりん	シクイムシ類	2000倍	200~700L/10a	収穫3日前まで	3回以内	3回以内		
オリーブ	オリーブアザキゾウムシ		200~700L/10a	収穫7日前まで	2回以内	2回以内		

(4) ペルメトリン 10.0%水和剤 (アディオオンフロアブル)

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ペルメトリンを含む農業の総使用回数	
大粒ぶどう	チャノキロアザミウマ	1000~2000倍	収穫7日前まで	5回以内	散布	5回以内	
	コガネムシ類、フタテンメコバエ	1500倍					
おうとう	ウチウマダラミバエ、ショウジョウバエ	2000倍	収穫前日まで	2回以内		2回以内	
もも	モハモガリガ	1500~2000倍	収穫7日前まで	6回以内		2回以内	6回以内
	シクイムシ類、アブラムシ類	1500倍					
すもも	アブラムシ類	1500~2000倍	収穫14日前まで	2回以内			2回以内
りんご	キンモンバガ						
	ケムシ類、アブラムシ類、ハマキムシ類 モモフォキリゾウムシ、シクイムシ類						
なし	シクイムシ類、カミムシ類	1500~2000倍	収穫前日まで	2回以内			
くるみ	アブラムシ類		1500倍		収穫7日前まで		
マルメ	シクイムシ類	2000倍	収穫14日前まで	3回以内	3回以内		
ブルーベリー	ウチウマダラミバエ		収穫前日まで				
アスパラガス	ヨトウムシ、ハスモンヨトウ	1500倍	-	6回以内	6回以内		
きくばら カーネーション	アブラムシ類						
宿根かすみそう	アブラムシ類、ヨトウムシ						

(4) ペルメトリン 10.0%水和剤 (アディオフロアブル) のつづき

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ペルメトリンを含む農薬の総使用回数
イチゴ	ヨウムシ	1500倍	—	6回以内	散布	6回以内
りんどう	リンゴ葉カマキ、ヒラズハナアザミ					
トコギキョウ	ヒラズハナアザミ					
つつじ類	ツツジゲンバイ					

(5) ペルメトリン 10.0%マイクロカプセル剤 (エンパーMC)

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ペルメトリンを含む農薬の総使用回数
芝	シバツバガ	1000~2000倍	発生初期	3回以内	1㎡当り 0.3L 散布	3回以内
	スジキリトリ				1㎡当り 0.2~0.3L 散布	
	シバオザウシ成虫	2000倍			1㎡当り 0.3L 散布	
	クマツバガ				1㎡当り 0.5L 散布	
	コガネシジロ類幼虫	500倍			1㎡当り 1L 散布	
		1000倍				

(6) ペルメトリン 0.01%液剤 (ベジタメートAL)

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ペルメトリンを含む農薬の総使用回数
なす	テントウムシガシ類	原液	収穫前日まで	3回以内	希釈せずそのまま散布する	3回以内
トマト	アブラムシ類			5回以内		5回以内
きゅうり			アブラムシ類	4回以内		4回以内
ピーマン	アブラムシ類			6回以内		6回以内
キャベツ	アブラムシ		収穫3日前まで	5回以内		5回以内
だいこん	アブラムシ類		収穫30日前まで	4回以内		4回以内
	アブラムシ		収穫7日前まで	6回以内		6回以内
もも	アブラムシ類		収穫前日まで	5回以内		5回以内
かき	カメムシ類					
いちご	アブラムシ類		収穫前日まで	5回以内		5回以内
レタス	アブラムシ類	収穫7日前まで				
はくさい	ヨウムシ	収穫14日前まで				
ばれいしょ	テントウムシガシ類					

(7) ペルメトリン 0.01%エアゾル (カダンV)

作物名	適用病害虫名	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ペルメトリンを含む農薬の総使用回数
トマト きゅうり なす	アブラムシ類	収穫前日まで	3回以内	噴霧液が均一に付着するように噴射する。	3回以内
ピーマン いちご			5回以内		5回以内
キャベツ	アオムシ	収穫3日前まで	4回以内		4回以内
ばれいしょ だいこん	テントウムシダマシ類 カブラアブチ	収穫14日前まで 収穫45日前まで			

(8) ペルメトリン 0.2%エアゾル (園芸用キンチョールE)

作物名	適用病害虫名	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ペルメトリンを含む農薬の総使用回数
ばら	アブラムシ類 ハダニ類 チュウリップアブチ	—	—	噴霧液が均一に付着するように30cm以上離れた所から数回断続して噴射する。	—
きく	アブラムシ類				
つつじ類・つばき類等の花木	クワガタガイ チャドガ				
さくら	ケムシ類				
かんきつ かえで	ゴマダラカミキリ	収穫14日前まで —	6回以内 —	【専用ノズルつけかえ方式】 容器のボタンを引き抜き、専用ノズルにつけかえ、ゴマダラカミキリ又はクワカミキリの食入部にノズルを差し込み、薬剤が食入部から逆流するまで噴射する。	6回以内 —
いちじく	クワガタ	収穫前日まで	2回以内		2回以内
びわ びわ(葉)	クワガタ	収穫7日前まで	3回以内	【2ウェイノズル方式】 折り畳まれた専用ノズルを引き上げ、ゴマダラカミキリ又はクワカミキリの食入部にノズルを差し込み、薬剤が食入部から逆流するまで噴射する。	3回以内

(9) ペルメトリン 0.1%粒剤 (ガードベイトA、野菜ひろば)

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ペルメトリンを含む農薬の総使用回数
はくさい ごぼう	ネキリムシ類	3kg/10a	は種時～生育初期	5回以内	株元散布	5回以内
だいこん				4回以内		4回以内
オクラ				3回以内		3回以内
キャベツ レタス ブロッコリー カリフラワー			生育初期	5回以内		5回以内
なす トマト			3回以内	3回以内		

(9) ペルメトリン 0.1%粒剤 (ガードベイトA、野菜ひろば) のつづき

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ペルメトリンを含む農薬の総使用回数	
ミニトマト	雑草類	3kg/10a	生育初期	1回	株元散布	1回	
ピーマン いちご たまねぎ かんしょ やまのいも さといも かぼちゃ				5回以内		5回以内	
とうもろこし ばれいしょ				4回以内		4回以内	
てんさい				3回以内		5回以内	
なばな類 ねぎ わけぎ あさつき 豆類(未成熟) そらまめ だいず きゅうり						3回以内	3回以内
ほうれんそう しゅんぎく				2回以内		2回以内	
にんじん				生育初期 但し収穫 7日前まで		5回以内	5回以内
もりあざみ				7日前まで		3回以内	3回以内
エンサイ				生育初期 但し収穫 14日間まで		2回以内	2回以内
エンダイブ				定植時 但し収穫 21日前まで			
しょうが				定植時～ 発芽期 但し収穫120 日前 まで		4回以内	4回以内
葉しょうが				生育初期 但し収穫 30日前まで			
かぶ				収穫3日 前まで		3回以内	3回以内
にら にら(花茎)							
アスパラガス バセリ				収穫前日 まで		2回以内	2回以内
とうがらし類				収穫7日 前まで		2回以内	2回以内
いんちんこう				収穫30日 前まで		3回以内	3回以内
食用おおばこ (種子)				収穫7日 前まで			
飼料用とうもろ こし(青刈り)				生育初期 但し収穫14 日前まで		4回以内	4回以内

(9) ペルメトリン0.1%粒剤（ガードベイトA、野菜ひろば）のつづき

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ペルメトリンを含む農薬の総使用回数
花き類・ 観葉植物	ネリムシ類	3kg/10a	生育初期	6回以内	株元散布	6回以内
たばこ			定植時	1回		1回

2. 使用上の注意事項

[ペルメトリン 20.0%乳剤 (アディオン乳剤)]

- (1) 本剤のかんきつ、茶での散布は、場合によりハダニ類が増えることがあるので注意すること。
- (2) ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意すること。
 - ①ミツバチの巣箱及びその周辺に飛散するおそれがある場合には使用しないこと。
 - ②受粉促進を目的としてミツバチ等を放飼中の施設や果樹園等では使用をさけること。
 - ③養蜂が行われている地区では都道府県の畜産部局と連絡し、ミツバチの危害防止に努めること。
- (3) 蚕に長期間毒性があるので、散布された薬剤が飛散し、付近の桑に付着する恐れのある場所では使用しないこと。
- (4) ねぎのシロイチモジヨトウの防除に使用する場合は、食入前の若令幼虫期に散布すること。
- (5) 本剤を無人ヘリコプターによる散布に使用する場合は次の注意を守ること。
 - 散布は各散布機種種の散布基準に従って実施すること。
 - 無人ヘリコプターによる散布にあつては散布機種に適合した散布装置を使用すること。
 - 散布中薬液の漏れないように機体の散布用配管その他散布装置の十分な点検を行うこと。
 - 特定の農薬（混用可能が確認されているもの）を除いて原則として他の農薬との混用は行わないこと。
 - 作業終了後は次の項目を守ること。
 - ・使用後の空の容器は放置せず、適切に処理すること。
 - ・使用残りの薬液は必ず安全な場所に責任者をきめて保管すること。
 - ・機体散布装置は十分洗浄し、薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理すること。
- (6) 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤をはじめて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用すること。
なお、普及指導センター、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

[ペルメトリン 0.01%乳剤 (野菜用ハンドスプレー)]

- (1) 本剤はそのまま散布できるよう調製してあるので、希釈せずに散布すること。
- (2) 使用前に容器をよく振ること。
- (3) 日中、高温時、強風時、降雨前の使用は避けること。
- (4) 容器の洗浄水は河川等に流さず、容器、空袋等は環境に影響を与えないよう適切に処理すること。
- (5) 自動車、家具、床、カーテン等に噴霧液が付着したら直ちにふき取るか洗うこと。
- (6) 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- (7) ミツバチ及び蚕に影響があるので、注意して使用すること。
- (8) 噴霧が池や水槽に入らないように注意すること。

[ベルメトリン 20.0%水和剤 (アディオン水和剤)]

- (1) 散布液調製後はできるだけ速かに散布すること。
- (2) 蚕に長期間毒性があるので、散布された薬剤が飛散し、付近の桑に付着する恐れのある場所では使用しないこと。
- (3) ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意すること。
 - ①ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにすること。
 - ②受粉促進を目的としてミツバチ等を放飼中の施設や果樹園等では使用をさけること。
 - ③養蜂が行われている地区では周辺への飛散に注意する等、ミツバチの危害防止に努めること。

[ベルメトリン 10.0%水和剤 (アディオンフロアブル)]

- (1) 蚕に長期間毒性があるので、散布された薬剤が飛散し、付近の桑に付着する恐れのある場所では使用しないこと。
- (2) ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意すること。
 - ①ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにすること。
 - ②受粉促進を目的としてミツバチ等を放飼中の施設や果樹園等では使用をさけること。
 - ③養蜂が行われている地区では周辺への飛散に注意する等、ミツバチの危害防止に努めること。
- (3) 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

[ベルメトリン 10.0%マイクロカプセル剤 (エンバーMC)]

- (1) 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきること。
- (2) 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにすること。
- (3) ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意すること。
 - ①ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにすること。
 - ②養蜂が行われている地区では周辺への飛散に注意する等、ミツバチの危害防止に努めること。
- (4) 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

[ベルメトリン 0.01%液剤 (ベジタメートAL)]

- (1) 本剤はそのまま散布できるよう調製してあるので、希釈せずに散布すること。
- (2) 使用前によく振って均一な状態にしてから使用すること。
- (3) 日中高温時、強風時、降雨直前の使用はさけること。
- (4) アブラムシ類に対して効果の顕著な低下が認められる場合、その後の使用を中止すること。
- (5) ミツバチ及び蚕に影響があるので、注意して使用すること。

[ペルメトリン 0.01%エアゾル (カダンV)]

- (1) 本剤は、使用前に容器を充分振ること。また、30秒以上連続して使用するときは一度中断して容器を振ってから再び使用すること。
- (2) 植物体から15cm以上離して均一に噴射すること。
- (3) 日中高温時、強風時、降雨前の使用はさけること。
- (4) ミツバチ及び蚕に影響があるので、注意して使用すること。
- (5) 噴霧が池や水槽に入らないように注意すること。

[ペルメトリン 0.2%エアゾル (園芸用キンチョールE)]

- (1) 本剤は使用前に容器を十分振ること。また、30秒以上連続して使用する時は、一度中断して容器を振ってから再び使用すること。
- (2) ばら、きく及び花木に使用する場合、植物体への近接噴射や必要以上の長時間噴射は冷害や葉害を生ずるおそれがあるので、30cm以上離れたところから1～2秒間ずつ断続して茎葉がぬれる程度に噴射すること。特に新芽、新葉、蕾、花卉は冷害を生じやすいので十分注意すること。
- (3) かんきつのゴマダラカミキリに使用する場合、幼虫の食入が進むと効果が劣る場合があるので、食入初期に使用することが望ましい。
- (4) 日中高温時、強風時、降雨前の使用は避けること。
- (5) 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤をはじめて使用する場合は、使用者の責任において事前に葉害の有無を十分確認してから使用すること。
なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- (6) ミツバチ及び蚕に影響があるので、注意して使用すること。
- (7) 使用に当たっては、金魚鉢、水槽、池などに噴霧が入らないよう注意すること。

[ペルメトリン 0.1%粒剤 (ガードベイトA、野菜ひろばN)]

- (1) 作物体上から作物の地際の表面に散布すること。
- (2) 蚕に長期間毒性があるので、散布された薬剤が飛散し、付近の桑に付着する恐れのある場所では使用しないこと。
- (3) ミツバチに対して影響があるので、ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにすること。
- (4) 本剤の使用に当っては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意すること。特に適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤をはじめて使用する場合は、使用者の責任において事前に葉害の有無を十分確認してから使用すること。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

3. 水産動植物に有毒な農薬については、その旨

[ペルメトリン 20.0%乳剤 (アディオン乳剤)]

- (1) 水産動植物（魚類）に強い影響を及ぼす恐れがあるので、河川、湖沼及び海域等に飛散、流入しないよう注意して使用すること。養殖池周辺での使用は避けること。
- (2) 水産動植物（甲殻類）に影響を及ぼす恐れがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用すること。
- (3) 無人ヘリコプターによる散布で使用する場合は、飛散しないよう特に注意すること。
- (4) 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきることを。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないこと。また、空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理すること。

[ペルメトリン 0.01%乳剤 (野菜用ハンドスプレー)]

この登録に係る使用方法では該当がない。

[ペルメトリン 20.0%水和剤 (アディオン水和剤)]

- (1) 水産動植物（魚類）に強い影響を及ぼす恐れがあるので、河川、湖沼及び海域等に飛散、流入しないよう注意して使用すること。養殖池周辺での使用は避けること。
- (2) 水産動植物（甲殻類）に影響を及ぼす恐れがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用すること。
- (3) 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきることを。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないこと。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理すること。

[ペルメトリン 10.0%水和剤 (アディオンフロアブル)]

- (1) 水産動植物（魚類）に強い影響を及ぼす恐れがあるので、河川、湖沼及び海域等に飛散、流入しないよう注意して使用すること。
養殖池周辺での使用は避けること。
- (2) 水産動植物（甲殻類）に影響を及ぼす恐れがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用すること。
- (3) 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきることを。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないこと。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理すること。

[ペルメトリン 10.0%マイクロカプセル剤 (エンバーMC)]

- (1) 水産動植物（甲殻類）に影響を及ぼす恐れがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用すること。
- (2) 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきることを。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないこと。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理すること。

[ペルメトリン 0.01%液剤 (ベジタメートAL)]
この登録に係る使用方法では該当がない。

[ペルメトリン 0.01%エアゾル (カダンV)]
この登録に係る使用方法では該当がない。

[ペルメトリン 0.2%エアゾル (園芸用キンチョールE)]
この登録に係る使用方法では該当がない。

[ペルメトリン 0.1%粒剤 (ガードベイトA、野菜ひろばN)]
この登録に係る使用方法では該当がない。

V. 残留性及び環境中予測濃度算定関係

1. 作物残留性試験

(1) 分析法の原理と操作概要

試料をアセトンで抽出後、濃縮し残渣を有機層に転溶。調製した有機層は、脱水後溶媒を留去し残留物をカラムクロマトグラフィーで精製。調製した試験溶液は、ECD ガスクロマトグラフィーを用いて定量。

(2) 分析対象化合物

化学名： 3-フェノキシベンジル=(1*RS*, 3*RS*)-(1*RS*, 3*SD*)-3-(2, 2-ジクロロビニル)-2, 2-ジメチルシクロプロパンカルボキシラート

分子式： $C_{21}H_{20}Cl_2O_3$

分子量： 391.29

(3) 残留分析結果 (次頁)

作物名 栽培形態 分析部位 年度	剤型(成分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製場所 栽培情報	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)			
					公的分析機関		私的分析機関	
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財)日本食品分析センター JR-0110J		(株)化学分析コンサルタント JR-0111J	
とうもろこし(子実) 露地 乾燥子実 平成元年度	乳剤(20%) 2000倍 250 L/10 a 散布	長野中信農試	0	-	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005
			4	14	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005
			4	21	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005
		奈良農試	0	-	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005
			4	14	0.035	0.035	0.009	0.008
			4	21	0.044	0.042	0.047	0.044
未成熟とうもろこし 露地 未成熟 平成元年度		長野中信農試	0	-	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005
			4	14	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005
			4	21	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005
		奈良農試	0	-	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005
			4	14	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005
			4	21	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005
とうもろこし 露地 茎葉部 平成元年度		長野中信農試	0	-			0.088	0.088
			4	14			1.37	1.36
			4	21			< 0.005	< 0.005
		奈良農試	0	-			< 0.005	< 0.005
			4	14			0.852	0.820
			4	21				
					(財)日本食品分析センター JR-0101J		(株)化学分析コンサルタント JR-0102J	
だいず 露地 乾燥子実(豆) 平成2年度	乳剤(20%) 3000倍 200 L/10 a 散布	福島植防	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.005	< 0.005
			3	7	< 0.01	< 0.01	< 0.005	< 0.005
			3	14	< 0.01	< 0.01	0.006	0.006
		石川植防	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.005	< 0.005
			3	7	< 0.01	< 0.01	< 0.005	< 0.005
			3	14	< 0.01	< 0.01	< 0.005	< 0.005
だいず 露地 乾燥子実(豆) 平成16年度	乳剤(20%) 24倍 0.8 L/10 a 無人へり散布	宮城植防	0	-	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005
			3	9	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005
			3	15	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005
		岩手植防	0	-	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005
			3	7	< 0.005	< 0.005	0.012	0.012
			3	14	< 0.005	< 0.005	0.006	0.006
あずき 露地 乾燥子実(豆) 平成元年度	乳剤(20%) 2000倍 200 L/10 a 散布	福島植防	0	-	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005
			3	7	0.017	0.016	0.014	0.014
			3	14	0.012	0.012	0.005	0.005
		石川植防	0	-	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005
			3	6	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005
			3	14	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005
					(財)日本食品分析センター JR-0021J		(株)化学分析コンサルタント JR-0022J	
あずき 露地 乾燥子実(豆) 平成元年度		福島植防	0	-	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005
			3	7	0.017	0.016	0.014	0.014
			3	14	0.012	0.012	0.005	0.005
		石川植防	0	-	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005
			3	6	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005
			3	14	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005
					(財)日本食品分析センター JR-0021J		(株)化学分析コンサルタント JR-0022J	
あずき 露地 乾燥子実(豆) 平成元年度		福島植防	0	-	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005
			3	7	0.017	0.016	0.014	0.014
			3	14	0.012	0.012	0.005	0.005
		石川植防	0	-	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005
			3	6	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005
			3	14	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005

作物名 栽培形態 分析部位 年度	剤型(成分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製場所 栽培情報	使用回数	経過日数	分析結果 (ppm)						
					公的分析機関		私的分析機関				
					最高値	平均値	最高値	平均値			
					—		—				
					(財) 残留農業研究所 JR-0152J		㈱住化分析センター JR-0153J				
そらまめ 露地 乾燥子実(豆) 平成19年度	乳剤(20%) 3000倍 200 L/10 a 散布	宮城権防	0	—	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01			
			3	7	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01			
			3	14	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01			
			3	21	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01			
		鹿兒島農環協会	0	—	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01			
			3	7	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01			
			3	14	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01			
			3	21	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01			
ばれいしょ 露地 塊茎 昭和58年度	乳剤(20%) 1000倍 (北海道) 150 L/10 a (長野) 400 L/10 a 散布	北海道農試	0	—	< 0.01	< 0.01	0.001	0.001			
			2	7	< 0.01	< 0.01	0.005	0.005			
			2	14	< 0.01	< 0.01	0.002	0.002			
			4	7	< 0.01	< 0.01	0.005	0.005			
		長野権防	0	—	< 0.01	< 0.01	0.005	0.005			
			2	7	< 0.01	< 0.01	0.002	0.002			
			2	14	< 0.01	< 0.01	0.004	0.004			
			4	7	< 0.01	< 0.01	0.003	0.003			
			4	14	0.014	0.012	0.004	0.004			
			4	14	0.024	0.022	0.018	0.018			
								(財) 日本食品分析センター JR-0154J		(財) 住化分析センター JR-0155J	
			ばれいしょ 露地 塊茎 平成4年度	乳剤(20%) 2000倍 100 L/10 a 散布	日植防研	0	—	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005
4	7	< 0.005				< 0.005	< 0.005	< 0.005			
4	14	< 0.005				< 0.005	< 0.005	< 0.005			
4	21	< 0.005				< 0.005	< 0.005	< 0.005			
日植防研(宮崎)	0	—			< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005			
	4	7			< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005			
	4	14			< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005			
	4	21			< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005			
					(財) 残留農業研究所 —		㈱住化分析センター —				
ばれいしょ 露地 塊茎 平成5年度	エアゾル(0.01%)	日植防研	0	—	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005			
			4	14	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005			
			4	21	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005			
			4	28	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005			
		日植防研(高知)	0	—	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005			
			4	14	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005			
			4	21	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005			
			4	28	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005			
					(財) 日本食品分析センター JR-0080J		㈱住化分析センター JR-0081J				
さといも 露地 塊茎 平成元年度	乳剤(20%) 2000倍 200 L/10 a 散布	日植防研	0	—	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005			
			5	7	0.008	0.007	< 0.005	< 0.005			
			5	14	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005			
		日植防研(宮崎)	0	—	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005			
			5	7	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005			
			5	14	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005			

作物名 栽培形態 分析部位 年度	剤型(分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製場所 栽培情報	使用回数	経過日数	分析結果 (ppm)				
					公的分析機関		私的分析機関		
					最高値	平均値	最高値	平均値	
					(財)日本食品分析センター JR-0060J		磷化学分析コンサルタント JR-0061J		
かんしょ 露地 塊根 平成4年度	乳剤(20%) 2000倍 200 L/10 a 散布	日植防研	0	-	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	
			5	7	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	
			5	14	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	
		日植防研(高知)	0	-	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	
			5	7	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	
			5	14	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	
					(財)残留農業研究所 JR-0195J		-		
やまのいも 露地 塊茎 昭和62年度	乳剤(20%) 2000倍 200 L/10 a 散布	青森畑作園試	0	-	< 0.004	< 0.004			
			6	7	< 0.004	< 0.004			
			6	14	< 0.004	< 0.004			
		鳥取園試	0	-	< 0.004	< 0.004			
			5	7	< 0.004	< 0.004			
			5	14	< 0.004	< 0.004			
					(財)日本食品分析センター JR-0275J		住友化学㈱ JR-0280J		
やまのいも 露地 塊茎 平成20年度	乳剤(20%) 2000倍 200L/10a 散布	日植防研	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	
			5	7	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	
			5	14	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	
		長野植防(松代)	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	
			5	7	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	
			5	14	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	
					(財)残留農業研究所 JR-0107J		磷住化分析センター JR-0108J		
てんさい 露地 根部 昭和61年度	乳剤(20%) 2000倍 150 L/10 a 散布	北海道農試	0	-	< 0.004	< 0.004	< 0.005	< 0.005	
			5	7	< 0.004	< 0.004	< 0.005	< 0.005	
			5	14	< 0.004	< 0.004	< 0.005	< 0.005	
			5	23	0.004	0.004	< 0.005	< 0.005	
			北海道中央農試	0	-	< 0.004	< 0.004	< 0.005	< 0.005
				5	7	0.104	0.096	0.066	0.066
		5		14	0.027	0.027	0.080	0.078	
		茎葉部	北海道農試	5	21	0.038	0.037	0.048	0.046
				0	-	< 0.004	< 0.004	< 0.005	< 0.005
				5	7	0.436	0.423	0.697	0.690
				5	14	0.315	0.311	0.371	0.370
				5	23	0.178	0.178	0.184	0.182
北海道中央農試	0			-	< 0.004	< 0.004	< 0.005	< 0.005	
	5	7	3.30	3.22	5.24	5.16			
	5	14	2.57	2.55	3.75	3.70			
5	21	2.40	2.34	2.31	2.30				

作物名 栽培形態 分析部位 年度	剤型(成分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製場所 栽培情報	使用回数	経過日数	分析結果 (ppm)				
					公的分析機関		私的分析機関		
					最高値	平均値	最高値	平均値	
					(財) 残留農業研究所 JR-0094J		住友化学工業㈱ JR-0095J		
だいこん 露地 根部 昭和51年度	乳剤(20%) 2000倍 (日植防) 150~200 L/10 a (滋養) 150 L/10 a 散布	日植防研	0	—	0.004	0.004	0.038	0.038	
			2	30	0.007	0.006	0.022	0.021	
			2	45	0.006	0.006	0.016	0.016	
			4	30	0.007	0.006	0.022	0.021	
		4	45	0.005	0.004	0.018	0.018		
		滋賀短大	0	—	0.009	0.008	0.017	0.016	
			2	30	0.025	0.023	0.009	0.008	
			2	44	0.016	0.014	< 0.005	< 0.005	
			4	30	0.018	0.017	0.018	0.016	
		4	44	0.013	0.012	0.016	0.016		
		葉部	日植防研	0	—	< 0.008	< 0.008	0.044	0.044
				2	30	0.033	0.031	0.082	0.080
2	45			0.059	0.056	0.037	0.036		
4	30			0.115	0.107	0.140	0.130		
4	45			< 0.008	< 0.008	0.045	0.039		
滋賀短大	0			—	< 0.008	< 0.008	< 0.005	< 0.005	
	2			30	0.142	0.141	0.087	0.076	
	2			44	0.034	0.034	0.040	0.038	
	4	30	0.080	0.062	0.132	0.128			
4	44	0.016	0.014	0.049	0.040				
					(財) 残留農業研究所		㈱化学分析コンサルタント		
*だいこん 露地 根部 平成6年度	エアゾル(0.01%) 十分量 散布	福島植防	0	—	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	
			4	7	0.007	0.007	< 0.005	< 0.005	
			4	14	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	
			4	21	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	
			4	34	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	
			4	45	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	
		長野植防(松代)	0	—	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	
			4	7	0.054	0.052	0.058	0.056	
			4	14	0.066	0.066	0.058	0.056	
			4	21	0.036	0.036	0.061	0.060	
			4	30	0.047	0.046	0.068	0.068	
			4	45	0.013	0.012	0.010	0.009	
		葉部	福島植防	0	—	< 0.03	< 0.03	< 0.01	< 0.01
				4	7	1.01	0.98	1.16	1.13
				4	14	0.60	0.58	0.63	0.62
				4	21	0.49	0.47	1.13	1.11
4	34			0.39	0.38	0.34	0.34		
4	45			< 0.03	< 0.03	< 0.01	< 0.01		
*フマキラー㈱ 所有の試験成績	長野植防(松代)	0	—	< 0.03	< 0.03	< 0.01	< 0.01		
		4	7	4.26	4.26	5.10	5.04		
		4	14	1.72	1.67	2.65	2.58		
		4	21	1.52	1.46	3.01	2.99		
		4	30	0.73	0.72	1.22	1.22		
		4	45	< 0.03	< 0.03	0.02	0.02		

作物名 栽培形態 分析部位 年度	剤型(成分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製場所 栽培情報	使用回数	経過日数	分析結果 (ppm)					
					公的分析機関		私的分析機関			
					最高値	平均値	最高値	平均値		
					(財)日本食品分析センター JR-0299J		(株)化学分析コンサルタント JR-0300J			
*かぶ 施設 根部 平成21年度	粒剤(0.1%) 3 kg/10 a 株元散布	福島植防(郡山)	0	—	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01		
			4	3	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01		
			4	7	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01		
			4	14	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01		
		岐阜植防	0	—	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01		
			4	3	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01		
			4	7	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01		
			4	14	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01		
葉部	福島植防(郡山)	0	—	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01			
		4	3	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01			
		4	7	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01			
		4	14	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01			
*住友化学㈱ 所有の試験成績	岐阜植防	0	—	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01			
		4	3	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01			
		4	7	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01			
		4	14	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01			
かぶ 施設 根部 平成24年度 GLP試験	乳剤(20%) 2000倍 (青森)206 L/10 a (奈良) 200~217 L/10 a 散布	住化ナサビス(青森)	0	—			< 0.01	< 0.01		
			2	1			0.15	0.15		
			2	3			0.08	0.08		
			2	7			0.10	0.10		
		住化ナサビス(奈良)	2	14			0.15	0.15		
			0	—			< 0.01	< 0.01		
			2	1			0.16	0.16		
			2	3			0.13	0.12		
		葉部	住化ナサビス(青森)	2	7			0.11	0.10	
				2	14			0.12	0.12	
				0	—			< 0.01	< 0.01	
				2	1			6.22	6.18	
		住化ナサビス(奈良)	2	3			4.20	4.16		
			2	7			4.31	4.12		
			2	14			2.94	2.88		
			0	—			< 0.01	< 0.01		
住化ナサビス(奈良)	2	1			3.95	3.90				
	2	3			4.09	4.02				
	2	7			3.50	3.44				
	2	14			3.42	3.31				
はくさい 露地 茎葉 昭和51年度	乳剤(20%) 1000倍 (日植防) 150~200 L/10 a (滋賀)150 L/10 a 散布	日植防研	0	—	< 0.004	< 0.004	< 0.005	< 0.005		
			3	7	0.193	0.181	0.408	0.402		
			3	14	0.093	0.092	0.236	0.226		
			3	21	0.041	0.037	0.025	0.025		
			3	28	0.019	0.018	0.011	0.011		
			5	7	0.149	0.138	0.236	0.235		
			5	14	0.021	0.020	0.188	0.181		
			5	21	0.044	0.041	0.013	0.012		
			5	28	0.017	0.017	0.021	0.021		
			滋賀短大	0	—	< 0.004	< 0.004	< 0.005	< 0.005	
				3	7	1.02	1.00	1.78	1.70	
				3	16	0.248	0.246	0.448	0.440	
				3	23	0.098	0.096	0.113	0.103	
				3	30	0.100	0.097	0.055	0.052	
		5		7	0.691	0.664	1.25	1.24		
		5		16	0.184	0.175	0.435	0.416		
		5		23	0.120	0.118	0.074	0.074		
		5		30	0.298	0.292	0.119	0.114		
							(財)残留農業研究所 JR-0148J	住友化学工業㈱ JR-0149J		

作物名 栽培形態 分析部位 年度	剤型(分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製場所 栽培情報	使用回数	経過日数	分析結果 (ppm)						
					公的分析機関		私的分析機関				
					最高値	平均値	最高値	平均値			
					(財)残留農業研究所 JR-0064J		住友化学工業㈱ JR-0065J				
キャベツ 露地 葉球 昭和50年度	乳剤(20%) 2000倍 150 L/10 a 散布	日植防研	0	—	< 0.010	< 0.010	< 0.005	< 0.005			
			3	3	< 0.010	< 0.010	< 0.005	< 0.005			
			3	7	0.022	0.018	< 0.005	< 0.005			
			3	14	< 0.010	< 0.010	< 0.005	< 0.005			
			3	21	< 0.010	< 0.010	< 0.005	< 0.005			
			5	3	< 0.010	< 0.010	< 0.005	< 0.005			
			5	7	0.038	0.037	< 0.005	< 0.005			
			5	14	< 0.010	< 0.010	0.006	0.006			
			5	21	< 0.010	< 0.010	0.009	0.008			
					滋賀短大	0	—	< 0.010	< 0.010	< 0.005	< 0.005
						3	3	< 0.010	< 0.010	0.034	0.032
						3	7	0.040	0.038	0.025	0.024
						3	13	< 0.010	< 0.010	< 0.005	< 0.005
				3		20	< 0.010	< 0.010	< 0.005	< 0.005	
							(財)残留農業研究所 JR-0066J		㈱化学分析センター JR-0066J		
		キャベツ 露地 葉球 平成2年度	エアゾル(0.01%)	日植防研	0	—	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	
5	3				0.063	0.056	0.076	0.072			
5	7				0.046	0.045	0.054	0.053			
5	14				0.011	0.010	0.019	0.019			
				新潟高冷地農技セ	0	—	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	
					5	3	0.021	0.020	0.026	0.025	
					5	7	0.016	0.014	0.019	0.018	
					5	14	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	
					—		住化テクノサービス㈱ JR-0290J, JR-0291J				
こまつな 施設 茎葉 平成22年度 GLP試験	乳剤(20%) 2000倍 (茨城) 159~179 L/10 a (兵庫) 175~179 L/10 a 散布	シンテックリサーチジャパン (茨城)	0	—			< 0.01	< 0.01			
			3	1			1.84	1.84			
			3	3			1.78	1.76			
			3	7			0.84	0.83			
		3	14			0.25	0.24				
				住化テクノサービス (兵庫)	0	—			< 0.01	< 0.01	
					3	1			12.5	12.5	
					3	3			10.6	10.4	
					3	7			7.78	7.76	
					3	14			2.78	2.74	

作物名 栽培形態 分析部位 年度	剤型(分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製場所 栽培情報	使用回数	経過日数	分析結果 (ppm)					
					公的分析機関		私的分析機関			
					最高値	平均値	最高値	平均値		
					京都府農業総合研究所 JR-0184J		大阪府立農林技術センター JR-0183J			
みずな 施設 可食部 平成8年度	乳剤(20%) 3000倍 200 L/10 a 散布	京都農総研	0	-	< 0.05	< 0.05	< 0.2	< 0.2		
					1	3	3.12	3.07	2.4	2.2
					1	7	0.87	0.82	1.3	1.2
					1	14	0.34	0.33	0.2	0.2
					2	3	3.22	3.21	2.8	2.8
					2	7	1.52	1.46	1.1	1.0
					2	14	0.22	0.21	< 0.2	< 0.2
					大阪農技センター	0	-	< 0.05	< 0.05	< 0.2
		1	3	4.44				4.39	3.5	3.4
		1	7	3.78				3.71	2.8	2.7
1	14	1.82	1.78	1.4				1.4		
2	3	4.88	4.84	4.7	4.6					
2	7	4.22	4.14	3.0	3.0					
2	14	3.03	3.02	1.8	1.8					
					京都府農業総合研究所 JR-0185J		-			
みずな 施設 茎葉(根を除く) 平成9年度	乳剤(20%) 3000倍 200 L/10 a	京都農総研 (亀岡)	0	-	< 0.05	< 0.05				
		京都農総研 (和知町)	0	-	< 0.05	< 0.05				
					(財)日本食品分析センター JR-0294J		-			
みずな (施設) (茎葉) 平成23年度	乳剤(20%) 2000倍 (干葉) 167~185 L/10 a (高知) 182 L/10 a 散布	日植防(干葉)	0	-	< 0.01	< 0.01				
					3	1	4.13	4.06		
					3	3	2.98	2.89		
					3	7	1.50	1.50		
					3	14	0.49	0.49		
		日植防(高知)	0	-	< 0.01	< 0.01				
					3	1	4.79	4.75		
					3	3	3.25	3.22		
					3	7	2.47	2.40		
					3	14	1.11	1.10		
					(財)日本食品分析センター JR-0293J		住友化学㈱ JR-0292J			
チンゲンサイ (施設) (茎葉) 平成22年度	乳剤(20%) 2000倍 (干葉) 152~195 L/10 a (宮崎) 176 L/10 a 散布	日植防(干葉)	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01		
					3	1	2.63	2.58	2.05	2.02
					3	3	1.77	1.74	1.14	1.11
					3	7	1.11	1.07	0.99	0.98
					3	14	0.53	0.52	0.04	0.04
		日植防(宮崎)	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01		
					3	1	2.39	2.38	2.37	2.35
					3	3	1.40	1.40	1.43	1.42
					3	7	0.95	0.92	1.14	1.10
					3	14	0.04	0.04	0.06	0.06
					(財)残留農業研究所 JR-0233J		(財)住友化学㈱ JR-0234J			
カリフラワー 露地 花蕾 昭和61年度	乳剤(20%) 2000倍 200 L/10 a	長野中信農試	0	-	0.004	0.004	< 0.005	< 0.005		
					5	3	0.107	0.105	0.116	0.114
					5	7	0.055	0.054	0.072	0.069
					5	14	0.020	0.020	0.010	0.010
					(財)日本食品分析センター JR-0273J		住友化学㈱ JR-0279J			
カリフラワー 露地 花蕾 平成20年度	乳剤(20%) 2000倍 300 L/10 a 散布	長野県植防 (南信研究所)	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01		
					5	3	0.16	0.16	0.19	0.18
					5	7	0.04	0.04	0.07	0.07
					5	14	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01

作物名 栽培形態 分析部位 年度	剤型(分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製場所 栽培情報	使用回数	経過日数	分析結果 (ppm)				
					公的分析機関		私的分析機関		
					最高値	平均値	最高値	平均値	
					(財)残留農業研究所 JR-0233J		(財)住友化学センター JR-0234J		
ブロッコリー 露地 花蕾 昭和61年度	乳剤(20%) 2000倍 200 L/10 a 散布	日植防研	0	-	< 0.004	< 0.004	< 0.005	< 0.005	
					0.049	0.048	0.196	0.196	
					0.036	0.035	0.063	0.062	
					0.016	0.016	0.025	0.025	
					(財)日本食品分析センター JR-0271J		住友化学株式会社 JR-0278J		
ブロッコリー 露地 花蕾 平成20年度	乳剤(20%) 2000倍 256 L/10 a 散布	徳島県植防	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	
					0.73	0.72	0.45	0.44	
					0.39	0.38	0.34	0.34	
					0.15	0.15	0.15	0.14	
					岩手県農業研究センター JR-0301J		-		
*オータムボエム 露地 茎葉 平成20年度	粒剤(0.1%) 3 kg/10 a 株元散布	岩手農研	0	-	< 0.01	< 0.01			
					1 21	< 0.01	< 0.01		
					1 28	< 0.01	< 0.01		
					1 35	< 0.01	< 0.01		
*ワケイ化学㈱ 所有の試験成績		宮城農園研	0	-	< 0.01	< 0.01			
					1 21	< 0.01	< 0.01		
					1 28	< 0.01	< 0.01		
					1 35	< 0.01	< 0.01		
					長崎県総合農林試験場 JR-0268J		-		
茎ブロッコリー 露地 花蕾及び茎葉部 平成19年度	乳剤(20%) 2000倍 200L/10a	長崎総農試	0	-	< 0.15	< 0.15			
					3 3	0.98	0.96		
					3 7	0.87	0.83		
					3 14	0.34	0.33		
					(社)長崎県食品衛生協会 JR-0295J		-		
茎ブロッコリー 露地 花蕾及び茎葉部 平成21年度	乳剤(20%) 2000倍 200L/10a	長崎総農試	0	-	< 0.02	< 0.02			
					3 3	2.66	2.62		
					3 7	1.36	1.33		
					3 14	0.44	0.44		
					大阪府立農林技術センター JR-0088J		(財)住友化学センター JR-0089J		
しろな 露地 茎葉 平成7年度	乳剤(20%) 2000倍 (大阪)150 L/10 a (奈良)120 L/10 a 散布	大阪農技センター	0	-	< 0.2	< 0.2	< 0.01	< 0.01	
					2 7	0.9	0.9	0.26	0.26
					2 14	0.8	0.8	0.06	0.06
		奈良農試	0	-	< 0.2	< 0.2	< 0.01	< 0.01	
					2 7	0.6	0.6	0.41	0.40
					2 14	0.4	0.4	0.01	0.01
	乳剤(20%) 4000倍 (大阪)150 L/10 a (奈良)120 L/10 a 散布	大阪農技センター	0	-	< 0.2	< 0.2	< 0.01	< 0.01	
					2 3	1.8	1.7	0.36	0.36
					2 7	1.2	1.2	0.11	0.11
		奈良農試	0	-	< 0.2	< 0.2	< 0.01	< 0.01	
					2 3	1.1	1.1	0.85	0.82
					2 7	0.5	0.5	0.21	0.20
2 14	0.2	0.2	0.01	0.01					

作物名 栽培形態 分析部位 年度	剤型(成分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製場所 栽培情報	使用回数	経過日数	分析結果 (ppm)				
					公的分析機関		私的分析機関		
					最高値	平均値	最高値	平均値	
					千葉県農業試験場 JR-0136J		-		
なばな 露地 茎葉及び花 昭和62年度	乳剤(20%) 2000倍 200 L/10 a 散布	千葉暖地園試	0	-	0.011	0.009			
			3	1	6.20	6.00			
			3	3	3.20	3.10			
			3	7	2.70	2.60			
		3	14	0.17	0.17				
		千葉安房郡丸山 町石堂	0	-	0.004	0.004			
			3	1	2.24	2.20			
			3	3	1.06	1.02			
3	7		0.940	0.850					
3	14	0.285	0.282						
					(財)残留農業研究所 JR-0078J		(株)住化分析センター JR-0079J		
ごぼう 露地 根部 昭和61年度	乳剤(20%) 2000倍 200 L/10 a 散布	日植防研	0	-	< 0.004	< 0.004	< 0.005	< 0.005	
			5	7	< 0.004	< 0.004	0.013	0.012	
			5	14	< 0.004	< 0.004	< 0.005	< 0.005	
			5	14	< 0.004	< 0.004	< 0.005	< 0.005	
		岡山農試(北部)	0	-	< 0.004	< 0.004	< 0.005	< 0.005	
			5	7	0.265	0.260	0.419	0.410	
			5	14	0.184	0.183	0.380	0.369	
			5	14	0.184	0.183	0.380	0.369	
					-		日本エテック株式会社 JR-0296J		
*エンダイブ 施設 茎葉 平成21年度 *サカイ化学㈱ 所有の試験成績	粒剤(0.1%) 3 kg/10a 株元散布	千葉農総研 ^レ (安房)	0	-			< 0.01	< 0.01	
			2	7			< 0.01	< 0.01	
			2	14			< 0.01	< 0.01	
			2	21			< 0.01	< 0.01	
		千葉農総研 ^レ (館山)	0	-			< 0.01	< 0.01	
			2	7			< 0.01	< 0.01	
			2	14			< 0.01	< 0.01	
			2	21			< 0.01	< 0.01	
					(財)日本食品分析センター JR-0264J		(株)化学分析コンサルタント JR-0258J		
しゅんぎく 施設 茎葉 平成17年度	乳剤(20%) 4000倍 200 L/10 a 散布	群馬植防	0	-	< 0.1	< 0.1	< 0.1	< 0.1	
			2	7	5.8	5.8	6.5	6.4	
			2	14	3.0	3.0	3.4	3.3	
			2	21	0.4	0.4	0.5	0.5	
			2	30	< 0.1	< 0.1	< 0.1	< 0.1	
			2	30	< 0.1	< 0.1	< 0.1	< 0.1	
		兵庫農総 ^レ	0	-	< 0.1	< 0.1	< 0.1	< 0.1	
			2	7	3.1	3.0	4.7	4.6	
			2	14	2.2	2.2	2.5	2.5	
			2	21	1.1	1.0	1.2	1.2	
			2	30	0.2	0.2	0.1	0.1	
			2	30	0.2	0.2	0.1	0.1	
					(財)残留農業研究所 JR-0209J		(株)住化分析センター JR-0210J		
レタス 施設 茎葉 昭和61年度	乳剤(20%) 2000倍 200 L/10 a 散布	日植防研	0	-	< 0.004	< 0.004	< 0.005	< 0.005	
			3	1	1.63	1.63	2.15	2.14	
			3	3	2.65	2.64	2.50	2.47	
			3	7	1.52	1.45	1.22	1.21	
			5	1	2.80	2.78	4.38	4.35	
			5	3	2.42	2.34	4.21	4.16	
			5	7	0.601	0.564	0.783	0.774	
			5	7	0.601	0.564	0.783	0.774	
			長野野菜花き試	0	-	< 0.004	< 0.004	< 0.005	< 0.005
				3	1	1.21	1.19	1.11	1.10
				3	3	0.942	0.937	1.60	1.58
				3	7	0.898	0.886	0.730	0.730
		5	1	0.659	0.653	0.783	0.778		
		5	3	0.768	0.764	2.00	2.00		
		5	7	0.531	0.527	0.494	0.494		

作物名 栽培形態 分析部位 年度	剤型(分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製場所 栽培情報	使用回数	経過日数	分析結果 (ppm)			
					公的分析機関		私的分析機関	
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財)残留農業研究所 JR-0261J		㈱化学分析コンサルタント JR-0014J	
リーフレタス 露地 茎葉 平成15年度	乳剤(20%) 2000倍 150 L/10 a 散布	長野農試(原村)	0	—	< 0.05	< 0.05	< 0.01	< 0.01
			2	3	2.86	2.84	2.82	2.76
			2	7	0.17	0.17	0.06	0.06
			2	14	0.13	0.12	0.09	0.09
		日糧防研(高知)	0	—	< 0.05	< 0.05	< 0.01	< 0.01
			2	3	7.85	7.66	6.60	6.48
			2	7	5.83	5.66	7.55	7.22
			2	14	1.22	1.18	1.34	1.31
					— — ㈱化学分析コンサルタント JR-0308J			
サラダ菜 施設 茎葉 平成24年度	乳剤(20%) 2000倍 (福井)175 L/10 a (大分)166.7 L/10 a 散布	福井植防	0	—			< 0.01	< 0.01
			2	1			6.97	6.72
			2	3			4.58	4.48
			2	7			2.14	2.12
		大分植防	2	14			0.36	0.36
			0	—			< 0.01	< 0.01
			2	1			7.68	7.64
			2	3			6.91	6.78
2	7			4.88	4.87			
2	14			5.04	4.90			
					岡山県農林水産総合センター JR-0287J — —			
トレビス 施設 可食部 平成21年度	乳剤(20%) 3000倍 200L/10a 散布	岡山農総試(鴨方町)	0	—	< 0.05	< 0.05		
			3	7	0.06	0.06		
			3	14	< 0.05	< 0.05		
			3	21	< 0.05	< 0.05		
		岡山農総試(里庄町)	0	—	< 0.05	< 0.05		
			3	7	0.05	0.05		
			3	14	< 0.05	< 0.05		
			3	21	< 0.05	< 0.05		
					大阪府立食とみどりの総合技術センター JR-0240J — —			
菜ごぼう 施設 植物体全体 平成17年度	乳剤(20%) 3000倍 200 L/10 a 散布	大阪府食とみどりの総合技術センター	0	—	< 0.1	< 0.1		
			2	14	0.95	0.94		
			2	21	0.73	0.71		
			2	28	0.16	0.16		
		香川農試	0	—	< 0.1	< 0.1		
			2	14	0.96	0.92		
			2	21	0.44	0.44		
			2	28	0.46	0.44		
					愛知県農業総合試験場 JR-0297J — —			
*もりあざみ 施設 茎葉 平成20年度 *㈱化学㈱ 所有の試験成績	粒剤(0.1%) 3 kg/10 a 株元散布	愛知農総試(安城)	0	—	< 0.1	< 0.1		
			3	7	< 0.1	< 0.1		
			3	14	< 0.1	< 0.1		
			3	21	< 0.1	< 0.1		
		愛知農総試(碧南)	0	—	< 0.1	< 0.1		
			3	7	< 0.1	< 0.1		
			3	14	< 0.1	< 0.1		
			3	21	< 0.1	< 0.1		

作物名 栽培形態 分析部位 年度	剤型(成分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製場所 栽培情報	使用回数	経過日数	分析結果 (ppm)			
					公的分析機関		私的分析機関	
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財)残留農業研究所 JR-0105J		(株)住化分析センター JR-0106J	
たまねぎ 露地 鱗茎 昭和61年度	乳剤(20%) 2000倍 200 L/10 a 散布	日植防研	0	-	< 0.004	< 0.004	< 0.005	< 0.005
			5	7	< 0.004	< 0.004	0.016	0.016
			5	14	< 0.004	< 0.004	< 0.005	< 0.005
		兵庫淡路農技	0	-	< 0.004	< 0.004	< 0.005	< 0.005
			5	7	< 0.004	< 0.004	0.021	0.021
			5	14	< 0.004	< 0.004	0.007	0.007
					(財)残留農業研究所 JR-0140J		(株)住化分析センター JR-0141J	
ねぎ 露地 茎葉 昭和61年度	乳剤(20%) 2000倍 200 L/10 a 散布	日植防研	0	-	< 0.004	< 0.004	< 0.005	< 0.005
			5	7	0.630	0.626	0.514	0.514
			5	14	0.292	0.272	0.236	0.234
		千葉農試	0	-	< 0.004	< 0.004	< 0.005	< 0.005
			5	7	1.82	1.74	3.47	3.41
			5	14	1.09	1.07	1.91	1.90
					(財)日本食品分析センター JR-0142J		(株)住化分析センター JR-0143J	
ねぎ(葉ねぎ) 露地 茎葉 平成元年度	乳剤(20%) 2000倍 150 L/10 a 散布	鳥取果試(西伯)	0	-	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005
			3	7	0.992	0.982	0.198	0.196
			3	14	0.380	0.372	0.071	0.069
		広島農試	0	-	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005
			3	7	0.974	0.923	0.591	0.579
			3	14	0.391	0.387	0.542	0.527
					(財)残留農業研究所 JR-0144J		(株)住化分析センター JR-0145J	
ねぎ(根深ねぎ) 露地 茎葉 平成2年度	乳剤(20%) 2000倍 150 L/10 a 散布	埼玉植防	0	-	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005
			3	7	0.448	0.426	0.159	0.140
			3	14	0.287	0.277	0.108	0.104
		千葉農試	0	-	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005
			3	7	0.272	0.258	0.142	0.132
			3	14	0.119	0.114	0.068	0.065
					-		-	
					(株)住化分析センター JR-0306J		-	
にんにく 露地 鱗茎 平成24年度	乳剤(20%) 2000倍 (青森)200 L/10a (高知)179 L/10 a 散布	青森植防	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			2	1	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			2	3	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
		日植防(高知)	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			2	1	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			2	3	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
					(財)日本食品分析センター JR-0302J		(株)住化分析センター JR-0303J	
*にら 施設 茎葉 平成22年度 *住友化学㈱ 所有の試験成績	粒剤(0.1%) 3 kg/10 a 株元散布	福島植防(郡山)	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			3	3	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			3	7	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
		日植防(高知)	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			3	3	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			3	7	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
					< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01

作物名 栽培形態 分析部位 年度	剤型(分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製場所 栽培情報	使用回数	経過日数	分析結果 (ppm)				
					公的分析機関		私的分析機関		
					最高値	平均値	最高値	平均値	
					(財)日本食品分析センター JR-0029J		保土谷コンクリート株式会社 JR-0030J		
アスパラガス 露地 若茎 平成7年度	フロアブル(10%) 1500倍 (岩手)150 L/10 a (長野)200 L/10 a 散布	岩手園試	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	
			3	1	0.53	0.52	0.68	0.64	
		長野植防(須坂)	3	3	0.20	0.20	0.12	0.11	
			3	7	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	
					広島県立農業試験場 JR-0023J, JR-0024J				
アスパラガス 露地 若茎 昭和62年度	乳剤(20%) 2000倍 150 L/10 a 散布	広島農試 (神石郡神)	0	-	< 0.02	< 0.02			
			3	1	0.47	0.44			
			3	3	0.10	0.10			
			4	1	0.35	0.33			
	昭和63年度	乳剤(20%) 3000倍 150 L/10 a 散布	広島農試 (神石郡神)	0	-	< 0.02	< 0.02		
				3	1	0.70	0.64		
				3	3	0.11	0.10		
				4	1	0.18	0.18		
昭和63年度	乳剤(20%) 2000倍 150 L/10 a 散布	広島農試 (神石郡神)	0	-	< 0.02	< 0.02			
			3	1	0.84	0.84			
			3	3	0.30	0.26			
			4	1	0.82	0.71			
昭和63年度	乳剤(20%) 3000倍 150 L/10 a 散布	広島農試 (神石郡神)	0	-	< 0.02	< 0.02			
			3	1	1.28	1.25			
			3	3	0.33	0.32			
			4	1	0.68	0.67			
					青森農林総研セ				
*アスパラガス 茎 平成17年度	粒剤(0.10%) 3 kg/10a 株元散布	青森農林総研セ	0	-	< 0.02	< 0.02			
			3	1	< 0.02	< 0.02			
			3	3	< 0.02	< 0.02			
			3	7	< 0.02	< 0.02			
**カイ化学㈱ 所有の試験成績		鹿児島農試 (大隅支場)	0	-	< 0.02	< 0.02			
			3	1	< 0.02	< 0.02			
			3	3	< 0.02	< 0.02			
			3	7	< 0.02	< 0.02			
					㈱化学分析センター JR-0241J				
食用ゆり 露地 鱗茎 平成16年度	乳剤(20%) 3000倍 (中央農試) 150 L/10 a (花・野菜技術) 200 L/10 a 散布	北海道中央農試	0	-			< 0.05	< 0.05	
			5	1			< 0.05	< 0.05	
			5	7			< 0.05	< 0.05	
			5	14			< 0.05	< 0.05	
		北海道花・ 野菜技術センター	0	-			< 0.05	< 0.05	
			5	1			< 0.05	< 0.05	
			5	7			< 0.05	< 0.05	
			5	14			< 0.05	< 0.05	

作物名 栽培形態 分析部位 年度	剤型(成分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製場所 栽培情報	使用回数	経過日数	分析結果 (ppm)					
					公的分析機関		私的分析機関			
					最高値	平均値	最高値	平均値		
					(財)残留農業研究所 JR-0137J		㈱住化分析センター JR-0138J			
にんじん 露地 根部 昭和61年度	乳剤(20%) 2000倍 200 L/10 a 散布	日植防研	0	-	< 0.004	< 0.004	< 0.005	< 0.005		
			5	7	0.035	0.035	0.028	0.028		
			5	14	0.028	0.028	0.010	0.010		
		埼玉植防	0	-	< 0.004	< 0.004	< 0.005	< 0.005		
			5	7	0.029	0.028	< 0.005	< 0.005		
			5	14	0.022	0.022	0.024	0.024		
*にんじん 茎 平成19年度 *サカイ化学㈱ 所有の試験成績	粒剤(0.10%) 3 kg/10a 株元散布	日植防研	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01		
			5	7	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01		
			5	14	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01		
			5	21	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01		
			日植防研 (宮崎)	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	
				5	7	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	
		5		14	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01		
		5		21	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01		
		(財)日本食品分析センター		-		-		㈱化学分析コンサクト		
		-		-		-		㈱化学分析コンサクト		
		*バセリ 施設 茎葉 平成16年度 *サカイ化学㈱ 所有の試験成績	粒剤(0.10%) 3 kg/10a 株元散布	千葉農研セ (海上郡)	0	-			< 0.02	< 0.02
					3	1			< 0.02	< 0.02
3	7						< 0.02	< 0.02		
千葉農研センター (館山市)	0			-			< 0.02	< 0.02		
	3			1			< 0.02	< 0.02		
	3			7			< 0.02	< 0.02		
トマト 施設 果実 昭和52年度	乳剤(20%) 2000倍 (京都) 250~450 L/10 a (鳥取)300 L/10 a 散布	京都農研 (山城分場)	0	-	< 0.004	< 0.004	0.022	0.020		
			2	1	0.193	0.184	0.351	0.341		
			2	3	0.150	0.135	0.207	0.190		
			2	7	0.111	0.104	0.153	0.132		
			3	1	0.338	0.273	0.366	0.336		
			3	3	0.344	0.336	0.294	0.284		
			3	7	0.154	0.148	0.305	0.298		
			鳥取野菜試 (西伯分場)	0	-	< 0.004	< 0.004	0.006	0.006	
				2	1	0.137	0.124	0.256	0.246	
		2		3	0.107	0.097	0.240	0.216		
		2		7	0.229	0.220	0.186	0.180		
		3		1	0.312	0.310	0.327	0.296		
		3		3	0.287	0.283	0.316	0.315		
		3		7	0.357	0.334	0.227	0.226		
		(財)残留農業研究所 JR-0113J		-		-		住友化学工業㈱ JR-0114J		
		-		-		-				

作物名 栽培形態 分析部位 年度	剤型(成分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製場所 栽培情報	使用回数	経過日数	分析結果 (ppm)						
					公的分析機関		私的分析機関				
					最高値	平均値	最高値	平均値			
					(財)残留農業研究所 JR-0115J		(財)化学分析センター JR-0115J				
トマト 施設 果実 平成2年度	エアゾル(0.01%)	鯉渕学園	0	—	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005			
			3	1	0.244	0.229	0.193	0.190			
			3	3	0.356	0.348	0.326	0.308			
			3	7	0.305	0.300	0.326	0.324			
		長野南信農試	0	—	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005			
			3	1	0.089	0.086	0.101	0.100			
			3	3	0.072	0.067	0.080	0.076			
			3	7	0.037	0.036	0.052	0.050			
					(財)残留農業研究所 JR-0238J		(財)化学分析センター JR-0036J				
ミニトマト 施設 果実 平成16年度	乳剤(20%) 3000倍 (石川)300 L/10 a (宮崎)200 L/10 a 散布	石川植防	0	—	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01			
			1	1	0.22	0.22	0.27	0.26			
			1	7	0.20	0.20	0.23	0.23			
			1	14	0.15	0.14	0.11	0.11			
			2	1	0.44	0.44	0.55	0.54			
			2	7	0.36	0.36	0.34	0.34			
		宮崎総農試	2	14	0.29	0.28	0.34	0.33			
			0	—	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01			
			1	1	0.31	0.30	0.38	0.38			
			1	7	0.29	0.29	0.25	0.25			
			1	14	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01			
			2	1	0.50	0.48	0.61	0.59			
ピーマン 施設 果実 昭和60年度	乳剤(20%) 2000倍 200 L/10 a 散布	茨城園試 (モ菜部)	0	—	0.004	0.004	< 0.005	< 0.005			
			3	1	1.57	1.52	0.905	0.905			
			3	3	1.04	1.04	0.812	0.807			
			3	7	0.618	0.616	0.558	0.552			
			5	1	1.33	1.29	0.615	0.604			
			5	3	0.897	0.858	0.490	0.490			
		長野中農試	5	7	1.14	1.09	0.400	0.399			
			0	—	< 0.004	< 0.004	< 0.005	< 0.005			
			3	1	0.261	0.260	0.272	0.271			
			3	3	0.309	0.306	0.251	0.248			
			3	7	0.192	0.183	0.176	0.175			
			5	1	0.448	0.434	0.293	0.292			
ピーマン 施設 果実 平成6年度	乳剤(20%) 2000倍 200 L/10 a 散布	和歌山県植防	0	—			< 0.01	< 0.01			
			5	1			1.33	1.28			
			5	3			1.10	1.09			
			0	—			< 0.01	< 0.01			
			5	1			0.66	0.62			
			5	3			1.46	1.44			
		日植防研宮崎	0	—							
			5	1							
			5	3							
			5	7							
								(財)残留農業研究所 —		保土ヶ谷コンカト株式会社 JR-0159J	
			ピーマン 施設 果実 平成5年度	エアゾル(0.01%)	和歌山植防	0	—	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005
5	1	0.520				0.518	0.908	0.906			
5	3	0.493				0.493	0.861	0.840			
5	7	0.344				0.334	0.538	0.534			
日植防研(宮崎)	0	—				< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005		
	5	1				0.180	0.170	0.392	0.384		
	5	3			0.110	0.107	0.218	0.211			
	5	7			0.078	0.076	0.130	0.126			

作物名 栽培形態 分析部位 年度	剤型(分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製場所 栽培情報	使用回数	経過日数	分析結果 (ppm)			
					公的分析機関		私的分析機関	
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財)残留農業研究所 JR-0131J		(株)住化分析センター JR-0132J, JR-0133J	
なす 施設 果実 昭和57年度	乳剤(20%) 2000倍 (日植防) 100~200 L/10 a (滋賀) 150 L/10 a 散布	日植防研	0	—	< 0.008	< 0.008	0.001	0.001
			3	1	0.159	0.147	0.145	0.145
			3	3	0.157	0.148	0.126	0.124
			3	7	0.066	0.063	0.076	0.073
			6	1	0.193	0.186	0.094	0.093
			6	3	0.152	0.146	0.077	0.076
			6	7	0.061	0.058	0.069	0.058
		滋賀短大	0	—	< 0.008	< 0.008	< 0.001	< 0.001
			3	1	0.044	0.042	0.039	0.039
			3	3	0.022	0.022	0.041	0.040
			3	7	0.009	0.009	0.008	0.008
			6	1	0.062	0.059	0.090	0.088
			6	3	0.064	0.062	0.058	0.057
			6	7	0.029	0.027	0.013	0.012
					(財)残留農業研究所 JR-0134J		(株)化学分析コンサルタント JR-0134J	
なす 施設 果実 平成3年度	エアゾル(0.01%)	大阪農技セ	0	—	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005
			3	1	0.072	0.069	0.063	0.062
			3	3	0.056	0.054	0.030	0.029
			3	7	0.005	0.005	0.008	0.008
		日植防研(宮崎)	0	—	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005
			3	1	0.073	0.072	0.060	0.060
			3	3	0.032	0.032	0.027	0.026
			3	7	0.005	0.005	0.019	0.019
					(財)残留農業研究所 JR-0250J		(株)化学分析コンサルタント JR-0251J	
ししとう 施設 果実 平成15年度	乳剤(20%) 2000倍 (高知) 150 L/10 a (長野) 200 L/10 a 散布	日植防研(高知)	0	—	< 0.03	< 0.03	< 0.01	< 0.01
			2	1	1.15	1.15	1.13	1.12
			2	3	1.14	1.10	0.97	0.96
			2	7	0.74	0.71	0.68	0.66
		長野農試(原村)	0	—	< 0.03	< 0.03	< 0.01	< 0.01
			2	1	0.27	0.27	0.56	0.55
			2	3	0.68	0.65	0.76	0.74
			2	7	0.64	0.61	0.69	0.68
					京都府農林水産技術センター JR-0322J		—	
*ししとう 施設 果実 平成23年度 *サカイ化学㈱ 所有の試験成績	粒剤(0.1%) 3 kg/10 a 株元散布	京都農技セ	0	—	< 0.02	< 0.02		
			2	7	< 0.02	< 0.02		
			2	14	< 0.02	< 0.02		
			2	21	< 0.02	< 0.02		
			2	21	< 0.02	< 0.02		
					京都府農林水産技術センター JR-0323J		—	
*ししとう 施設 果実 平成24年度 *サカイ化学㈱ 所有の試験成績	粒剤(0.1%) 3 kg/10 a 株元散布	京都農技セ	0	—	< 0.02	< 0.02		
			2	7	< 0.02	< 0.02		
			2	14	< 0.02	< 0.02		
			2	21	< 0.02	< 0.02		
			2	21	< 0.02	< 0.02		

作物名 栽培形態 分析部位 年度	剤型(分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製場所 栽培情報	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)			
					公的分析機関		私的分析機関	
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財)残留農業研究所 JR-0248J		(財)化学分析センター JR-0249J	
甘長とうがらし 施設 果実 平成15年度	乳剤(20%) 2000倍 (岐阜)250 L/10 a (宮崎)256.4 L/10 a 散布	岐阜植防	0	-	< 0.03	< 0.03	< 0.01	< 0.01
			2	1	2.14	2.13	2.35	2.24
			2	3	1.98	1.96	1.59	1.54
			2	7	1.09	1.08	1.16	1.10
		日植防研(宮崎)	0	-	< 0.03	< 0.03	< 0.01	< 0.01
			2	1	1.71	1.70	1.23	1.21
			2	3	1.09	1.09	0.78	0.77
			2	7	0.51	0.50	0.49	0.46
					京都府農林水産技術センター JR-0328J		-	
*甘長とうがらし 施設 果実 平成23年度 *サカイ化学㈱ 所有の試験成績	粒剤(0.1%) 3 kg/10 a 株元散布	京都農技	0	-	< 0.02	< 0.02		
			2	7	< 0.02	< 0.02		
			2	14	< 0.02	< 0.02		
			2	21	< 0.02	< 0.02		
					京都府農林水産技術センター JR-0324J		-	
*甘長とうがらし 施設 果実 平成24年度 *サカイ化学㈱ 所有の試験成績	粒剤(0.1%) 3 kg/10 a 株元散布	京都農技	0	-	< 0.02	< 0.02		
			2	7	< 0.02	< 0.02		
			2	14	< 0.02	< 0.02		
			2	21	< 0.02	< 0.02		
					(財)残留農業研究所 JR-0067J		住友化学工業㈱ JR-0068J	
きゅうり 施設 果実 昭和52年度	乳剤(20%) 2000倍 (広島)200 L/10 a (群馬) 100~150 L/10 a 散布	広島農試	0	-	< 0.004	< 0.004	< 0.005	< 0.005
			2	1	0.087	0.083	0.067	0.063
			2	3	0.026	0.026	0.029	0.028
			2	7	0.010	0.010	0.007	0.006
			3	1	0.066	0.065	0.039	0.039
			3	3	0.026	0.025	0.018	0.016
			3	7	0.010	0.010	0.009	0.008
			3	7	0.010	0.010	0.009	0.008
		群馬農試	0	-	< 0.004	< 0.004	< 0.005	< 0.005
			2	1	0.041	0.040	0.021	0.020
			2	3	0.022	0.020	0.030	0.025
			2	7	0.005	0.005	0.008	0.008
			3	1	0.168	0.168	0.032	0.032
			3	3	0.063	0.055	0.035	0.032
3	7	0.007	0.007	0.008	0.008			

作物名 栽培形態 分析部位 年度	剤型(成分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製場所 栽培情報	使用回数	経過日数	分析結果 (ppm)			
					公的分析機関		私的分析機関	
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財)残留農業研究所 JR-0066J		㈱化学分析コンサルタント JR-0066J	
きゅうり 施設 果実 平成3年度	エアゾル(0.01%)	日植防研	0	—	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005
			5	3	0.063	0.056	0.076	0.072
			5	7	0.046	0.045	0.054	0.053
			5	14	0.011	0.010	0.019	0.019
		新潟高冷地農技セ	0	—	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005
			5	3	0.021	0.020	0.026	0.025
			5	7	0.016	0.014	0.019	0.018
			5	14	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005
					(財)残留農業研究所 JR-0069J		㈱化学分析コンサルタント JR-0069J	
きゅうり 施設 果実 平成3年度	エアゾル(0.01%) (日植防) 21.8~41.2g/株 (長野)400L/10a 散布	日植防研	0	—	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005
			3	1	0.025	0.024	0.024	0.023
			3	3	0.014	0.014	0.017	0.016
			3	7	0.013	0.013	0.016	0.016
		長野植防(南信)	0	—	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005
			3	1	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005
			3	3	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005
			3	7	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005
					(財)残留農業研究所 JR-0058J		㈱住化分析センター JR-0059J	
かぼちゃ 露地 果実 昭和61年度	乳剤(20%) 2000倍 300L/10a 散布	北海道道南農試	0	—	< 0.004	< 0.004	< 0.005	< 0.005
			5	1	0.170	0.170	0.100	0.097
			5	3	0.124	0.121	0.150	0.149
		日植防研	0	—	< 0.004	< 0.004	< 0.005	< 0.005
			5	1	0.056	0.056	0.045	0.044
			5	3	0.068	0.066	0.114	0.112
					(財)残留農業研究所 JR-0090J		㈱住化分析センター JR-0091J	
すいか 施設 果肉 昭和61年度	乳剤(20%) 2000倍 200L/10a 散布	日植防研	0	—	< 0.004	< 0.004	< 0.005	< 0.005
			5	1	0.004	0.004	< 0.005	< 0.005
			5	3	0.004	0.004	< 0.005	< 0.005
		鳥取園試 (西伯分場)	0	—	< 0.004	< 0.004	< 0.005	< 0.005
			5	1	0.004	0.004	< 0.005	< 0.005
			5	3	0.004	0.004	< 0.005	< 0.005
					(財)残留農業研究所 JR-0186J		㈱住化分析センター JR-0187J	
メロン 施設 果肉 昭和61年度	乳剤(20%) 2000倍 250L/10a 散布	日植防研	0	—	< 0.004	< 0.004	< 0.005	< 0.005
			5	1	0.023	0.023	0.019	0.018
			5	3	0.017	0.017	0.025	0.024
		熊本農試 (八代支場)	0	—	< 0.004	< 0.004	< 0.005	< 0.005
			5	1	0.015	0.015	0.019	0.019
			5	3	0.016	0.016	0.017	0.016

作物名 栽培形態 分析部位 年度	剤型(分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製場所 栽培情報	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)						
					公的分析機関		私的分析機関				
					最高値	平均値	最高値	平均値			
					(財)日本食品分析センター JR-0178J		㈱化学分析コンサルタント JR-0179J				
ほうれんそう 施設 茎葉 平成元年度	乳剤(20%) 3000倍 (日植防) 150~180 L/10 a (滋賀)200 L/10 a 散布	日植防研	0	—	< 0.02	< 0.02	< 0.005	< 0.005			
			2	14	0.99	0.98	0.920	0.904			
			2	21	0.78	0.78	0.426	0.426			
		滋賀農試	0	—	< 0.02	< 0.02	< 0.005	< 0.005			
			2	14	1.86	1.81	1.91	1.87			
			2	21	0.49	0.48	0.532	0.524			
					沖縄県病害虫防除所 JR-0054J		保土谷コンサルタント㈱ JR-0055J				
オクラ 露地 果実 平成7年度	乳剤(20%) 2000倍 200 L/10 a 散布	香川農試	0	—	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01			
			3	1	1.01	0.96	1.11	1.10			
			3	3	0.50	0.48	0.97	0.95			
			3	7	0.14	0.14	0.28	0.27			
		愛媛農試	0	—	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01			
			3	1	0.45	0.44	0.52	0.50			
			3	3	0.18	0.18	0.12	0.12			
			3	7	0.01	0.01	0.01	0.01			
		鹿児島農試	0	—	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01			
			3	1	1.02	1.00	1.14	1.13			
			3	3	0.48	0.47	0.51	0.50			
			3	7	0.03	0.03	0.08	0.08			
					(財)日本食品分析センター JR-0330		熊本農研センター JR-0329				
*しょうが 露地 塊茎 平成16年度 **カイ化学 所有の試験成績	粒剤(0.1%) 3 kg/10a 株元散布	高知農研七	0	—	< 0.05	< 0.05	< 0.3	< 0.3			
			4	122	< 0.05	< 0.05	< 0.3	< 0.3			
			0	—	< 0.05	< 0.05	< 0.3	< 0.3			
		熊本農研七	4	126	< 0.05	< 0.05	< 0.3	< 0.3			
								(財)日本食品分析センター JR-0298J		—	
			*葉しょうが 露地 根茎 平成21年度 **カイ化学㈱ 所有の試験成績	粒剤(0.1%) 3 kg/10 a 株元散布	日植防(茨城)	0	—	< 0.01	< 0.01		
4	28	< 0.01				< 0.01					
4	42	< 0.01				< 0.01					
4	56	< 0.01				< 0.01					
日植防(宮崎)	0	—			< 0.01	< 0.01					
	4	28			< 0.01	< 0.01					
	4	42	< 0.01	< 0.01							
	4	56	< 0.01	< 0.01							
					(財)日本食品分析センター JR-0086J		㈱住化分析センター JR-0086J				
さやえんどう 施設 さや 平成4年度	乳剤(20%) 3000倍 (和歌山)300 L/10 a (宮崎) 200 L/10 a 散布	和歌山植防	0	—	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01			
			3	1	1.32	1.26	1.21	1.21			
			3	3	0.75	0.74	0.96	0.96			
			3	7	0.13	0.12	0.16	0.16			
		日植防研(宮崎)	0	—	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01			
			3	1	1.09	1.04	0.69	0.66			
3	3		0.71	0.69	0.52	0.52					
3	7		0.29	0.28	0.18	0.18					
					(財)日本食品分析センター JR-0033J		㈱化学分析コンサルタント JR-0034J				
さやいんげん 露地 さや 平成元年度	乳剤(20%) 2000倍 200 L/10 a 散布	長野農試 (原村)	0	—	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005			
			4	1	1.53	1.45	0.785	0.784			
			4	3	0.979	0.957	0.770	0.766			
			4	7	0.688	0.679	0.716	0.706			
		石川河北潟 営農センター	0	—	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005			
			4	1	0.866	0.830	0.766	0.752			
			4	3	0.920	0.892	0.758	0.747			
			4	7	0.635	0.618	0.574	0.566			

作物名 栽培形態 分析部位 年度	剤型(分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製場所 栽培情報	使用回数	経過日数	分析結果 (ppm)					
					公的分析機関		私的分析機関			
					最高値	平均値	最高値	平均値		
					(財)日本食品分析センター JR-0043J		(株)化学分析センター JR-0044J			
えだまめ 露地 さや 平成2年度	乳剤(20%) 3000倍 200 L/10 a 散布	福島植防	0	—	< 0.04	< 0.04	< 0.005	< 0.005		
			3	7	2.49	2.42	1.49	1.44		
			3	14	1.46	1.45	0.860	0.854		
			3	21	0.85	0.82	0.768	0.763		
		石川植防	0	—	< 0.04	< 0.04	< 0.005	< 0.005		
			3	7	0.87	0.87	0.478	0.463		
			3	14	0.79	0.76	0.512	0.512		
			3	21	0.51	0.50	0.328	0.325		
未成熟そらまめ 露地 豆 平成5年度	乳剤(20%) 3000倍 250 L/10 a 散布	和歌山農試 (御坊市南塩屋)	0	—	< 0.005	< 0.005	< 0.01	< 0.01		
			3	7	< 0.005	< 0.005	< 0.01	< 0.01		
			3	14	< 0.005	< 0.005	< 0.01	< 0.01		
			3	21	< 0.005	< 0.005	< 0.01	< 0.01		
		和歌山農試 (御坊市名田)	0	—	< 0.005	< 0.005	< 0.01	< 0.01		
			3	7	< 0.005	< 0.005	< 0.01	< 0.01		
			3	14	< 0.005	< 0.005	< 0.01	< 0.01		
			3	21	< 0.005	< 0.005	< 0.01	< 0.01		
							香川農試 JR-0304J, JR-0305J		—	
		*エンサイ 施設 茎葉 平成21年度 平成22年度 *住友化学㈱ 所有の試験成績	粒剤(0.1%) 3 kg/10 a 株元散布	香川農試	0	—	< 0.04	< 0.04		
					2	14	< 0.04	< 0.04		
					2	21	< 0.04	< 0.04		
2	28				< 0.04	< 0.01				
岡山農試 JR-0262J	0			—	< 0.04	< 0.04				
	2			14	< 0.04	< 0.04				
	2			21	< 0.04	< 0.04				
	2			28	< 0.04	< 0.04				
さといも(葉柄) 露地 葉柄 平成19年度	乳剤(20%) 2000倍 200 L/10 a 散布	岡山農試センター (岡山市)	0	—	< 0.3	< 0.3				
			2	7	< 0.3	< 0.3				
			2	14	< 0.3	< 0.3				
			2	21	< 0.3	< 0.3				
		岡山農試センター (赤磐市)	2	28	< 0.3	< 0.3				
			0	—	< 0.3	< 0.3				
			2	7	< 0.3	< 0.3				
			2	14	< 0.3	< 0.3				
			2	21	< 0.3	< 0.3				
			2	28	< 0.3	< 0.3				

作物名 栽培形態 分析部位 年度	剤型(分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製場所 栽培情報	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)			
					公的分析機関		私的分析機関	
					最高値	平均値	最高値	平均値
					山形県立農業試験場 JR-0015J		-	
つるむらさき 施設 茎葉 平成16年度	乳剤(20%) 2000倍 (山形)200 L/10 a (徳島) 190-193 L/10 a 散布	山形園試	0	-	< 0.05	< 0.05		
			2	3	1.23	1.22		
			2	7	0.21	0.20		
			2	14	< 0.05	< 0.05		
		徳島農林水産 総合技術センター	0	-	< 0.05	< 0.05		
			2	3	2.47	2.31		
			2	7	0.97	0.91		
			2	14	0.66	0.58		
					(一社)日本植物防疫協会 JR-0326J		-	
*いんちんこう 頭花 露地 平成24年度 *サカイ化学㈱ 所有の試験成績	粒剤(0.1%) 3 kg/10 a 株元散布	日植防(茨城・阿見)	0	-	< 0.01	< 0.01		
			3	30	< 0.01	< 0.01		
			3	60	< 0.01	< 0.01		
			3	90	< 0.01	< 0.01		
		日植防(茨城・牛久)	0	-	< 0.01	< 0.01		
			3	30	< 0.01	< 0.01		
			3	60	< 0.01	< 0.01		
			3	90	< 0.01	< 0.01		
					長崎県農林技術開発センター JR-0317J		-	
*びわ(葉) 露地 葉 平成23年度 *大日本除虫菊㈱ 所有の試験成績	エアゾル(0.2%) 2~3秒噴射/穴	長崎農技	0	-	< 0.10	< 0.10		
			3	3	< 0.10	< 0.10		
			3	7	< 0.10	< 0.10		
			3	14	< 0.10	< 0.10		
								長崎県農林技術開発センター JR-0318J
*びわ(葉) 露地 葉 平成23年度 *大日本除虫菊㈱ 所有の試験成績	エアゾル(0.2%) 2~3秒噴射/穴	長崎県長崎市	0	-	< 0.10	< 0.10		
			3	3	< 0.10	< 0.10		
			3	7	< 0.10	< 0.10		
			3	14	< 0.10	< 0.10		

作物名 栽培形態 分析部位 年度	剤型(成分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製場所 栽培情報	使用回数	経過日数	分析結果 (ppm)					
					公的分析機関		私的分析機関			
					最高値	平均値	最高値	平均値		
					(財)残留農業研究所 JR-0181J		住友化学工業㈱ JR-0182J			
みかん 露地 果肉 昭和50年度	乳剤(20%) 2000倍 (宮崎6 L/1 樹 (三重)600 L/10 a 散布	宮崎総農試	0	-	< 0.004	< 0.004	0.009	0.009		
			3	14	0.005	0.005	0.008	0.008		
			3	28	0.007	0.006	0.009	0.009		
			3	42	0.005	0.004	0.008	0.008		
			6	14	0.014	0.012	0.007	0.007		
			6	28	0.009	0.007	0.008	0.008		
		6	42	0.012	0.008	0.005	0.005			
		三重農技 (紀南かんきつ)	0	-	< 0.004	< 0.004	< 0.005	< 0.005		
			3	14	0.009	0.009	< 0.005	< 0.005		
			3	28	0.009	0.008	0.009	0.009		
			3	42	0.006	0.004	< 0.005	< 0.005		
			6	14	0.015	0.013	0.008	0.008		
			6	28	0.009	0.008	< 0.005	< 0.005		
		6	42	0.012	0.008	< 0.005	< 0.005			
		果皮		宮崎総農試	0	-	0.01	0.01	0.01	0.01
					3	14	1.82	1.77	3.02	2.98
					3	28	1.66	1.58	2.17	2.16
					3	42	1.74	1.72	1.86	1.82
6	14				5.47	5.04	4.96	4.92		
6	28				3.50	3.40	4.86	4.80		
6	42			3.42	3.28	3.83	3.82			
三重農技 (紀南かんきつ)	0			-	0.01	0.01	0.01	0.01		
	3			14	3.54	3.49	3.38	3.22		
	3			28	3.64	3.44	2.69	2.68		
	3			42	3.70	3.61	2.84	2.82		
	6			14	7.47	7.35	3.40	3.33		
	6	28	6.26	6.14	5.80	5.52				
6	42	5.90	5.79	4.86	4.80					
ジュース		宮崎総農試	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.005	< 0.005		
			3	14	0.01	0.01	0.009	0.009		
		三重農技 (紀南かんきつ)	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.005	< 0.005		
			6	14	0.01	0.01	0.008	0.008		

作物名 栽培形態 分析部位 年度	剤型(分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製場所 栽培情報	使用回数	経過日数	分析結果 (ppm)			
					公的分析機関		私的分析機関	
					最高値	平均値	最高値	平均値
					—		大日本除虫菊株式会社 JR-0313J	
*みかん 露地・無袋 果肉 昭和63年度	エアゾル(0.2%) 5秒間細孔噴射	果樹試 口之津支場	0	—			< 0.05	< 0.05
			1	30			< 0.05	< 0.05
			1	45			< 0.05	< 0.05
		静岡県柑橘試	0	—			< 0.05	< 0.05
			1	36			< 0.05	< 0.05
*大日本除虫菊株式会社 所有の試験成績	1	51			< 0.05	< 0.05		
1	61			< 0.05	< 0.05			
					—		大日本除虫菊株式会社 JR-0313J	
*みかん 露地・無袋 果皮 昭和63年度	エアゾル(0.2%) 5秒間細孔噴射	果樹試 口之津支場	0	—			< 0.05	< 0.05
			1	30			< 0.05	< 0.05
			1	45			< 0.05	< 0.05
		静岡県柑橘試	0	—			< 0.05	< 0.05
			1	36			< 0.05	< 0.05
*大日本除虫菊株式会社 所有の試験成績	1	51			< 0.05	< 0.05		
1	61			< 0.05	< 0.05			
					(財)日本食品分析センター JR-0276J		住友化学株式会社 JR-0277J	
なつみかん 露地 果実 平成20年度	乳剤(20%) 2000倍 (徳島)700L/10a (鹿児島)500L/10a 散布	徳島植防	0	—	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			6	14	0.96	0.94	0.44	0.44
			6	28	1.11	1.08	0.57	0.56
		鹿児島植防	0	—	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			6	14	1.52	1.52	1.17	1.14
			6	28	1.21	1.20	0.68	0.66
6	42	1.23	1.22	0.78	0.78			
					(財)日本食品分析センター JR-0274J		—	
すだち 施設 果実 平成20年度	乳剤(20%) 2000倍 500 L/10 a 散布	日植防研高知	0	—	< 0.02	< 0.02		
			6	14	2.07	2.04		
			6	28	1.54	1.54		
			6	42	0.91	0.86		
			6	56	0.62	0.60		
かぼす 露地 果実 平成20年度	乳剤(20%) 2000倍 800 L/10 a 散布	大分農果樹研	0	—	< 0.02	< 0.02		
			6	14	2.19	2.14		
			6	28	1.81	1.74		
			6	42	1.41	1.35		
			6	56	1.07	1.05		
					(財)残留農業研究所 JR-0196J		住友化学工業株式会社 JR-0197J	
りんご 露地 果実 昭和50年度	乳剤(20%) 1000倍 (青森) 600 L/10 a (長野) 500~700 L/10 a 散布	青森畑作園試	0	—	< 0.01	< 0.01	< 0.005	< 0.005
			3	14	1.34	1.33	1.03	1.02
			3	21	1.33	1.26	1.67	1.58
			3	28	1.03	0.986	1.04	1.04
			6	14	1.97	1.97	2.04	1.87
			6	21	1.42	1.38	1.81	1.76
		長野園試	0	—	< 0.01	< 0.01	< 0.005	< 0.005
			3	14	1.29	1.23	1.38	1.20
			3	21	0.872	0.856	0.752	0.744
			3	28	0.912	0.892	1.14	1.12
			6	14	1.67	1.64	1.65	1.46
			6	21	1.50	1.34	1.43	1.28
			6	28	1.77	1.67	1.59	1.56

作物名 栽培形態 分析部位 年度	剤型(分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製場所 栽培情報	使用回数	経過日数	分析結果 (ppm)				
					公的分析機関		私的分析機関		
					最高値	平均値	最高値	平均値	
					(財)残留農業研究所 JR-0198J		住友化学工業(株) JR-0199J		
りんご 露地 果実 昭和53年度	乳剤(20%) 2000倍 (秋田)700 L/10 a (長野)500 L/10 a 散布	秋田果試	0	-	< 0.010	< 0.010	< 0.010	< 0.010	
			3	60	0.145	0.137	0.264	0.255	
			3	75	0.139	0.139	0.241	0.236	
		長野果試	0	-	< 0.010	< 0.010	< 0.010	< 0.010	
			3	60	0.356	0.342	0.304	0.297	
			3	75	0.308	0.299	0.436	0.424	
りんご 露地・無袋 果実 平成5年度	水和剤(20%) 2000倍 (青森)600 L/10 a (岩手)400 L/10 a 散布	青森りんご試	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	
			2	14	0.55	0.54	0.57	0.56	
			2	21	0.52	0.51	0.58	0.55	
			3	14	0.67	0.65	0.69	0.68	
			3	21	0.65	0.64	0.59	0.59	
			3	21	0.65	0.64	0.59	0.59	
		岩手園試	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	
			2	14	0.24	0.23	0.21	0.21	
			2	21	0.23	0.23	0.20	0.20	
			3	14	0.21	0.21	0.24	0.24	
			3	21	0.22	0.21	0.21	0.20	
			3	21	0.22	0.21	0.21	0.20	
りんご 露地・無袋 果実 平成5年度	フロアブル(10%) 1500倍 400 L/10 a 散布	岩手植防	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	
			2	14	0.52	0.50	0.59	0.58	
			2	21	0.76	0.74	0.59	0.58	
		長野植防 (須坂)	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	
			2	14	0.70	0.70	0.91	0.88	
			2	21	0.86	0.84	0.82	0.82	
3	14	1.18	1.16	1.08	1.06				
なし 露地 果実 昭和59年度	乳剤(20%) 2000倍 400 L/10 a 散布	新潟園試	0	-	< 0.004	< 0.004	< 0.005	< 0.005	
			3	7	1.46	1.40	0.802	0.800	
			3	14	1.21	1.16	1.07	1.06	
			3	21	0.944	0.910	1.03	1.01	
			5	7	1.08	1.08	0.760	0.756	
			5	14	1.18	1.17	0.760	0.757	
			5	21	1.11	1.08	0.931	0.916	
			徳島果試 (県北分場)	0	-	< 0.010	< 0.010	< 0.002	< 0.002
				3	7	0.536	0.524	0.399	0.393
		3		14	0.435	0.426	0.331	0.321	
		3		21	0.274	0.272	0.116	0.114	
		5		7	0.601	0.599	0.429	0.426	
		5		14	0.620	0.618	0.417	0.414	
		5		21	0.469	0.462	0.331	0.328	
		5		21	0.469	0.462	0.331	0.328	
		5		21	0.469	0.462	0.331	0.328	

作物名 栽培形態 分析部位 年度	剤型(成分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製場所 栽培情報	使用回数	経過日数	分析結果 (ppm)			
					公的分析機関		私的分析機関	
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財)日本食品分析センター JR-0123J		(財)化学分析コンサルタント JR-0124J	
なし 露地・無袋 果実 平成5年度	乳剤(20%) 2000倍 400 L/10 a 散布	群馬園試	0	—	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			2	1	0.24	0.24	0.31	0.30
			2	3	0.25	0.25	0.25	0.24
			2	7	0.27	0.27	0.14	0.14
		長野植防 (南信)	0	—	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			2	1	0.36	0.36	0.36	0.36
			2	3	0.40	0.40	0.35	0.34
			2	7	0.35	0.34	0.32	0.30
					(財)日本食品分析センター JR-0125J		(財)化学分析コンサルタント JR-0126J	
なし 露地・無袋 果実 平成5年度	フロアブル(10%) 1500倍 400 L/10 a 散布	群馬園試	0	—	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			2	7	0.49	0.47	0.26	0.26
			3	14	0.55	0.54	0.59	0.56
			3	21	0.46	0.45	0.32	0.31
		福井農試	0	—	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
			2	7	0.39	0.38	0.31	0.30
			3	14	0.30	0.29	0.25	0.24
			3	21	0.22	0.21	0.21	0.21
					(財)残留農業研究所 JR-0128J		(財)化学分析コンサルタント JR-0129J	
なし 露地・無袋 果実 平成7年度	フロアブル(10%) 1500倍 400 L/10 a 散布	静岡柑橘試 (落葉果樹分場)	0	—	< 0.005	< 0.005	< 0.01	< 0.01
			2	1	0.640	0.612	0.64	0.62
			2	3	0.299	0.293	0.48	0.47
		福井農試	0	—	< 0.005	< 0.005	< 0.01	< 0.01
			2	1	0.337	0.327	0.29	0.28
			2	3	0.461	0.455	0.38	0.38
					長野県農業総合試験場 JR-0259J		—	
マルメロ 露地・無袋 果実 平成17年度	フロアブル(10%) 1500倍 700 L/10 a 散布	北海道道南農試	0	—	< 0.1	< 0.1		
			2	14	0.3	0.3		
			2	21	0.4	0.4		
			2	28	0.3	0.3		
		長野農試(南信)	0	—	< 0.1	< 0.1		
			2	14	0.9	0.9		
			2	21	0.7	0.6		
			2	28	0.6	0.6		

作物名 栽培形態 分析部位 年度	剤型(成分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製場所 栽培情報	使用回数	経過日数	分析結果 (ppm)					
					公的分析機関		私的分析機関			
					最高値	平均値	最高値	平均値		
					長崎県総合農林試験場 JR-0160J		-			
びわ 施設 果肉 昭和62年度	水和剤(20%) 2000倍 300 L/10 a 散布	長崎果樹試	0	-	0.012	0.012				
					3	7	0.177	0.177		
					3	14	0.175	0.175		
果皮			0	-	0.056	0.055				
					3	7	14.8	12.3		
					3	14	9.8	9.7		
					長崎県総合農林試験場 JR-0161J		-			
びわ 施設 果肉 平成元年度	水和剤(20%) 2000倍 300 L/10 a 散布	長崎果樹試	0	-	< 0.02	< 0.02				
					3	7	< 0.02	< 0.02		
					3	14	< 0.02	< 0.02		
果皮			0	-	< 0.02	< 0.02				
					3	7	0.80	0.78		
					3	14	0.67	0.67		
					長崎県農林技術開発センター JR-0315J		-			
*びわ 施設・有袋 果肉 平成23年度 *大日本除虫菊株式会社 所有の試験成績	エアゾル(0.2%) 2~3秒噴射/穴	長崎農技	0	-	< 0.04	< 0.04				
					3	3	< 0.04	< 0.04		
					3	7	< 0.04	< 0.04		
					3	14	< 0.04	< 0.04		
					長崎県農林技術開発センター JR-0316J		-			
*びわ 施設・有袋 果皮 平成23年度 *大日本除虫菊株式会社 所有の試験成績	エアゾル(0.2%) 2~3秒噴射/穴	長崎農技	0	-	< 0.08	< 0.08				
					3	3	< 0.08	< 0.08		
					3	7	< 0.08	< 0.08		
					3	14	< 0.08	< 0.08		
					エコーロ・リサーチ JR-0319J		-			
*びわ 施設・有袋 果肉 平成23年度 *大日本除虫菊株式会社 所有の試験成績	エアゾル(0.2%) 2~3秒噴射/穴	千葉農総	0	-			< 0.02	< 0.02		
					3	3			< 0.02	< 0.02
					3	7			< 0.02	< 0.02
					3	14			< 0.02	< 0.02

作物名 栽培形態 分析部位 年度	剤型(分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製場所 栽培情報	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)					
					公的分析機関		私的分析機関			
					最高値	平均値	最高値	平均値		
					(財) 残留農業研究所 JR-0189J		住友化学工業㈱ JR-0190J			
もも 露地・無袋 果肉 昭和51年度	乳剤(20%) 1000倍 (山梨) 400 L/10 a (広島) 300 L/10 a 散布	山梨果試	0	—	< 0.010	< 0.010	0.014	0.012		
			3	7	0.144	0.126	0.053	0.051		
			3	14	0.066	0.058	0.053	0.052		
			3	21	0.018	0.016	0.043	0.032		
			6	7	0.158	0.147	0.138	0.120		
			6	14	0.078	0.068	0.072	0.070		
		6	21	0.077	0.065	0.062	0.060			
		広島果試	0	—	< 0.010	< 0.010	0.014	0.012		
			3	7	0.078	0.077	0.065	0.060		
			3	14	0.045	0.044	0.025	0.024		
			3	21	0.110	0.085	0.020	0.020		
			6	7	0.177	0.164	0.103	0.097		
			6	14	0.130	0.125	0.059	0.056		
		6	21	0.100	0.090	0.030	0.029			
果皮		山梨果試	0	—	< 0.02	< 0.02	0.019	0.018		
			3	7	9.57	8.26	9.94	9.93		
			3	14	13.4	13.3	11.1	9.91		
			3	21	7.31	7.17	6.34	6.06		
			6	7	11.5	10.7	10.6	10.1		
			6	14	13.2	11.5	12.1	11.8		
		6	21	6.46	6.32	14.8	13.4			
		広島果試	0	—	0.07	0.07	0.262	0.23		
			3	7	19.1	16.6	19.2	18.7		
			3	14	10.7	9.78	17.1	16.2		
			3	21	4.79	4.73	6.65	6.35		
			6	7	16.4	15.6	22.4	21.6		
6	14		14.0	13.5	19.5	19.5				
6	21	9.38	8.90	10.9	10.8					
					(財) 残留農業研究所 JR-0192J		㈱化学分析コンサート JR-0194J			
もも 露地・無袋 果肉 平成4年度	フロアブル(10%) 1500倍 300 L/10 a 散布	福島植防	0	—	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005		
			6	7	0.008	0.008	0.013	0.012		
			6	14	< 0.005	< 0.005	0.009	0.008		
		長野植防(須坂)	0	—	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005		
			6	7	< 0.005	< 0.005	0.008	0.008		
			6	14	< 0.005	< 0.005	0.007	0.007		
		果皮		福島植防	0	—	< 0.02	< 0.02	0.01	0.01
					6	7	24.5	22.5	14.7	14.3
					6	14	20.4	18.7	16.4	16.2
				長野植防(須坂)	0	—	< 0.02	< 0.02	0.03	0.03
					6	7	20.2	19.2	8.32	8.22
					6	14	10.5	9.60	5.84	5.62
					—		㈱化学分析コンサート JR-0255J			
ネクタリン 露地・無袋 果実 平成15年度	乳剤(20%) 2000倍 (山梨市) 400 L/10 a (塩山市) 600 L/10 a 散布 *:処理日に降雨が あったため、翌日に 再散布をおこなった。	山梨果試(山梨市)	0	—			< 0.05	< 0.05		
			3*	7			0.65	0.64		
			3*	14			0.71	0.70		
			3*	21			0.52	0.50		
		山梨果試(塩山市)	0	—			< 0.05	< 0.05		
			3	7			0.55	0.51		
			3	14			0.34	0.32		
			3	21			0.08	0.08		

作物名 栽培形態 分析部位 年度	剤型(成分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製場所 栽培情報	使用回数	経過日数	分析結果 (ppm)						
					公的分析機関		私的分析機関				
					最高値	平均値	最高値	平均値			
					(財)日本食品分析センター JR-0191J		(株)化学分析コンサルタント JR-0193J				
すもも 露地 果実 平成4年度	フロアブル(10%) 1500倍 400 L/10 a 散布	長野植防 (須坂)	0	-	< 0.01	< 0.01	0.005	0.005			
			2	7	0.59	0.56	0.965	0.940			
			2	14	0.38	0.38	0.500	0.482			
			2	21	0.29	0.28	0.378	0.372			
		和歌山果試	0	-	< 0.01	< 0.01	0.007	0.007			
			2	7	0.04	0.04	0.089	0.088			
			2	14	0.03	0.02	0.035	0.034			
			2	21	0.03	0.03	0.079	0.071			
					(財)残留農業研究所 JR-0037J		(株)住化分析センター JR-0038J				
うめ 露地 果実 昭和60年度	乳剤(20%) 2000倍 (福井)600 L/10 a (和歌山)300 L/10 a 散布	福井園試	0	-	< 0.004	< 0.004	< 0.005	< 0.005			
			3	14	1.645	1.629	1.91	1.91			
			3	28	1.031	0.970	1.24	1.24			
			0	-	< 0.004	< 0.004	< 0.005	< 0.005			
		和歌山果試(紀北)	3	14	0.710	0.686	0.799	0.798			
			3	28	0.414	0.386	0.357	0.356			
								(財)日本食品分析センター JR-0039J		(株)化学分析コンサルタント JR-0040J	
			うめ 露地 果実 平成5年度	乳剤(20%) 2000倍 (福井)400 L/10 a (徳島)300 L/10 a 散布	福井園試	0	-	< 0.02	< 0.02	< 0.01	< 0.01
2	1	2.71				2.66	2.52	2.51			
2	3	2.83				2.83	2.66	2.64			
2	7	2.15				2.10	1.98	1.96			
徳島植防	0	-			< 0.02	< 0.02	< 0.01	< 0.01			
	2	1			2.67	2.58	2.47	2.42			
	2	3			1.66	1.63	1.83	1.78			
	2	7			1.44	1.40	1.91	1.89			
					(財)残留農業研究所 JR-0047J		(株)化学分析コンサルタント JR-0048J				
おうとう 果実 昭和62年度 山形園試:施設 山梨果試:露地	水和剤(20%) 2000倍 (山形)400 L/10 a (山梨)600 L/10 a 散布	山形園試	0	-	< 0.004	< 0.004	< 0.005	< 0.005			
			2	1	1.59	1.50	1.92	1.85			
			2	3	1.93	1.90	1.73	1.72			
			2	7	1.10	1.04	1.21	1.20			
			3	1	0.959	0.922	1.19	1.16			
			3	3	0.768	0.740	0.968	0.956			
			3	7	0.722	0.690	0.847	0.822			
			山梨果試	0	-	0.004	0.004	< 0.005	< 0.005		
		2		1	1.65	1.62	2.39	2.36			
		2		3	2.39	2.36	3.00	2.97			
		2		7	1.80	1.77	2.82	2.76			
		3		1	2.28	2.28	2.68	2.63			
		3		3	2.49	2.39	2.96	2.95			
		3		7	1.78	1.74	2.76	2.70			
							(財)日本食品分析センター JR-0049J		(株)化学分析コンサルタント JR-0052J		
		おうとう 施設 果実 平成元年度	フロアブル(10%) 1000倍 400 L/10 a 散布	山形園試	0	-	< 0.01	< 0.01	0.007	0.006	
2	1				1.73	1.73	2.07	2.02			
2	3				1.73	1.66	1.96	1.88			
0	-				< 0.01	< 0.01	< 0.005	< 0.005			
新潟園試	2			1	0.27	0.26	0.273	0.266			
	2			3	0.28	0.27	0.270	0.259			

作物名 栽培形態 分析部位 年度	剤型(分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製場所 栽培情報	使用回数	経過日数	分析結果 (ppm)						
					公的分析機関		私的分析機関				
					最高値	平均値	最高値	平均値			
					(財)残留農業研究所 JR-0012J		(財)住化分析センター JR-0013J				
いちご 施設 果実 昭和61年度	乳剤(20%) 2000倍 150 L/10 a 散布	栃木農試(栃木)	0	-	< 0.004	< 0.004	< 0.005	< 0.005			
			3	1	0.531	0.526	0.346	0.344			
			3	3	0.495	0.494	0.368	0.366			
			3	7	0.280	0.278	0.224	0.221			
			5	1	0.472	0.466	0.335	0.333			
			5	3	0.254	0.252	0.204	0.204			
			5	7	0.182	0.181	0.152	0.151			
		奈良農試	0	-	< 0.004	< 0.004	< 0.005	< 0.005			
			3	1	0.601	0.600	0.441	0.440			
			3	3	0.354	0.352	0.375	0.373			
			3	7	0.213	0.212	0.246	0.246			
			5	1	0.642	0.636	0.484	0.483			
			5	3	0.630	0.628	0.382	0.378			
			5	7	0.311	0.294	0.290	0.287			
いちご 施設 果実 平成4年度	乳剤(20%) 3000倍 (栃木)120 L/10 a (長野)150 L/10 a 散布	栃木植防	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01			
			3	1	0.28	0.27	0.23	0.23			
			3	3	0.21	0.21	0.21	0.20			
			3	7	0.17	0.16	0.08	0.08			
			5	1	0.27	0.27	0.16	0.16			
			5	3	0.21	0.20	0.15	0.15			
			5	7	0.17	0.17	0.12	0.12			
		長野植防(南信)	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01			
			3	1	0.26	0.26	0.24	0.24			
			3	3	0.17	0.16	0.17	0.17			
			3	7	0.13	0.13	0.08	0.08			
			5	1	0.19	0.18	0.14	0.14			
			5	3	0.10	0.10	0.13	0.12			
			5	7	0.07	0.06	0.06	0.06			
*いちご 施設 果実 平成15年度 *フマキラー(株) 所有の試験成績	液剤(0.01%) 原液 100L/10a	群馬県植防	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01			
			5	1	0.20	0.20	0.19	0.18			
			5	3	0.15	0.14	0.12	0.12			
			5	7	0.11	0.10	0.07	0.07			
			三重県植防	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01		
				5	1	0.25	0.24	0.37	0.37		
				5	3	0.28	0.28	0.33	0.32		
		5		7	0.16	0.16	0.18	0.18			
		いちご 施設 果実 平成5年度		エアゾル(0.01%)	奈良農試 (高原分場)	0	-	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005
						5	1	0.010	0.010	0.008	0.008
						5	3	0.008	0.008	0.007	0.006
			5			7	< 0.005	< 0.005	0.005	0.005	
			(財)残留農業研究所			0	-	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005
						5	1	0.029	0.029	0.028	0.026
5	3					0.011	0.010	0.017	0.016		
5	7				0.005	0.005	0.012	0.011			
いちご 施設 果実 平成7年度	エアゾル(0.01%)				埼玉植防	0	-	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005
						5	1	0.029	0.029	0.028	0.026
						5	3	0.011	0.010	0.017	0.016
			5			7	0.005	0.005	0.012	0.011	
			三菱安科研			0	-	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005
						5	1	0.029	0.029	0.028	0.026
		5		3		0.011	0.010	0.017	0.016		
		5		7	0.005	0.005	0.012	0.011			

作物名 栽培形態 分析部位 年度	剤型(成分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製場所 栽培情報	使用回数	経過日数	分析結果 (ppm)			
					公的分析機関		私的分析機関	
					最高値	平均値	最高値	平均値
					—		—	
					—		(株)化学分析コンサルタント JR-0254J	
ブルーベリー 露地・無袋 果実 平成15年度	フロアブル(10%) 2000倍 (群馬) 200 L/10 a (千葉) 250-263 L/10 a 散布	群馬農技センター (中山間)	0	—			< 0.05	< 0.05
			2	1			1.38	1.38
			2	3			1.16	1.14
			2	7			0.96	0.95
		千葉農総研センター	0	—			< 0.05	< 0.05
			1	41			0.06	0.06
			3	1			1.04	0.98
			3	3			1.27	1.24
			3	7			0.71	0.68
					—		(株)化学分析コンサルタント JR-0265J	
アロニア 露地 子実 平成19年度	乳剤(20%) 3000倍 200 L/10 a 散布	北海道上川農試	0	—			< 0.01	< 0.01
			1	14			0.66	0.64
			1	22			0.27	0.26
			1	29			0.22	0.22
			1	36			0.23	0.22
			2	14			0.80	0.80
			2	22			0.37	0.36
			2	29			0.45	0.44
		2	36			0.38	0.38	
		北海道中央農試	0	—			< 0.01	< 0.01
			1	14			0.59	0.57
			1	21			0.68	0.68
			1	28			0.57	0.56
			1	35			0.23	0.22
			2	14			0.86	0.86
			2	21			0.80	0.79
			2	28			0.49	0.49
			2	35			0.40	0.39
					北海道中央農試 JR-0151J		—	
ハスカップ 露地 果実 昭和63年度 平成元年度	乳剤(20%) 2000倍 (北海道) 120 L/10 a (千歳) 200 L/10 a 散布	北海道中央農試 (昭和63年度)	0	—	< 0.01	< 0.01		
			1	3	0.26	0.23		
			1	7	0.18	0.14		
			1	14	0.14	0.11		
			2	3	0.38	0.35		
			2	7	0.32	0.29		
			2	14	0.25	0.22		
			3	3	0.61	0.56		
			3	7	0.48	0.42		
			3	14	0.31	0.28		
		千歳農協 (昭和63年度)	2	3	0.77	0.68		
			2	7	0.61	0.52		
		北海道中央農試 (平成元年度)	0	—	< 0.01	< 0.01		
			1	1	0.74	0.70		
			1	3	0.30	0.29		
			1	7	0.34	0.28		
			2	1	0.90	0.80		
			2	3	0.69	0.58		
2	7		0.51	0.50				
3	1		0.91	0.88				
3	3	0.50	0.44					
			3	7			0.44	0.42

作物名 栽培形態 分析部位 年度	剤型(分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製場所 栽培情報	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)			
					公的分析機関		私的分析機関	
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財)残留農業研究所 JR-0162J		網住化分析センター JR-0163J	
ぶどう 施設・無袋 果実 昭和60年度	乳剤(20%) 2000倍 (三重)350 L/10 a (福岡)200 L/10 a 散布	三重農技社(伊賀) (小粒種)	0	—	< 0.004	< 0.004	< 0.005	< 0.005
			3	7	1.46	1.40	0.626	0.618
			3	14	1.48	1.48	2.08	2.05
			3	28	1.20	1.20	0.601	0.599
			5	7	2.13	2.08	1.35	1.35
			5	14	2.55	2.45	2.41	2.37
			5	28	2.25	2.18	1.09	1.09
		福岡農総試(豊前) (大粒種)	0	—	< 0.004	< 0.004	< 0.005	< 0.005
			3	7	2.41	2.38	0.502	0.489
			3	14	1.89	1.86	1.36	1.35
			3	28	1.49	1.43	2.00	1.98
			5	7	2.18	2.10	0.581	0.574
			5	14	1.95	1.90	2.47	2.47
			5	28	2.03	1.97	1.43	1.41
					(財)日本食品分析センター JR-0164J		網住化分析センター JR-0165J	
ぶどう 施設 果実(大粒) 平成元年度	フロアブル(10%) 1000倍 300 L/10 a 散布	新潟園試	0	—	< 0.01	< 0.01	< 0.005	< 0.005
			5	7	2.83	2.71	1.73	1.72
			5	14	2.27	2.23	1.58	1.56
			5	21	3.13	3.00	1.48	1.47
			5	21	3.19	3.04	2.12	2.11
		岡山農試	0	—	< 0.01	< 0.01	< 0.005	< 0.005
			5	7	2.40	2.32	1.78	1.77
			5	14	2.26	2.16	2.35	2.34
			5	21	3.19	3.04	2.12	2.11
			5	21	3.19	3.04	2.12	2.11
					—		網住化分析センター JR-0166J	
ぶどう 露地 果実(大粒) 平成2年度	フロアブル(10%) 1000倍 300 L/10 a 散布	山梨果試	0	—			< 0.005	< 0.005
			5	7			1.11	1.08
			5	14			2.51	2.39
		兵庫県加西市	0	—			0.109	0.098
			5	7			1.06	0.958
			5	14			0.311	0.304
					(財)残留農業研究所 JR-0056J		網住化分析センター JR-0057J	
かき 露地 果実 昭和61年度	乳剤(20%) 2000倍 500 L/10 a 散布	新潟園試	0	—	< 0.004	< 0.004	< 0.005	< 0.005
			5	1			0.575	0.568
			5	7	0.555	0.553	0.550	0.546
			5	14	0.561	0.552	0.447	0.440
			5	21	0.567	0.554	0.350	0.350
			5	21	0.567	0.554	0.350	0.350
			福岡農総試(豊前)	0	—	< 0.004	< 0.004	< 0.005
		5		1			1.62	1.58
		5		7	1.76	1.76	1.52	1.52
		5		14	1.45	1.41	1.23	1.22
		5		21	1.59	1.50	1.18	1.16
		5		21	1.59	1.50	1.18	1.16
		5		21	1.59	1.50	1.18	1.16

作物名 栽培形態 分析部位 年度	剤型(分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製場所 栽培情報	使用回数	経過日数	分析結果 (ppm)				
					公的分析機関		私的分析機関		
					最高値	平均値	最高値	平均値	
					(財)残留農業研究所 JR-0062J		㈱住化分析センター JR-0063J		
キウイフルーツ 露地 果肉 昭和61年度	乳剤(20%) 2000倍 300 L/10 a 散布	静岡柑橘試	0	—	< 0.004	< 0.004	< 0.005	< 0.005	
			5	7	0.076	0.074	0.008	0.008	
			5	14	0.035	0.035	< 0.005	< 0.005	
			5	21	0.021	0.021	0.009	0.009	
		長崎果試	0	—	< 0.004	< 0.004	< 0.005	< 0.005	
			5	7	0.095	0.094	0.022	0.021	
			5	14	0.068	0.068	0.012	0.012	
			5	21	0.044	0.042	0.016	0.016	
					兵庫中央農技センター JR-0031J		—		
いちじく 露地 果実 昭和62年度	乳剤(20%) 2000倍 400 L/10 a 散布	神戸市西区 岩岡町広古	0	—	< 0.01	< 0.01			
			1	1	0.46	0.45			
			1	3	0.28	0.28			
			1	7	0.13	0.12			
			1	14	0.09	0.09			
			2	1	0.58	0.58			
			2	3	0.49	0.48			
			2	7	0.40	0.36			
					大阪農林技術センター JR-0032J		—		
いちじく 露地 果実 昭和63年度	乳剤(20%) 2000倍 250 L/10 a 散布	羽曳野市尺度 農技センター	0	—	< 0.01	< 0.01			
			2	1	0.49	0.46			
			2	3	0.23	0.20			
			2	7	0.35	0.34			
					兵庫中央農技センター JR-0314J		大阪府農技センター JR-0314J		
*いちじく 露地・無袋 果実 平成8年度	エアゾル(0.2%) 5秒間細孔噴射 ベルメトリン	兵庫中央農技 *10%FL 2000倍散布	0	—	0.11	0.11	0.2	0.2	
			2*+1	1	0.06	0.06	0.1	0.1	
			2*+1	7	0.07	0.06	0.2	0.2	
			2*+1	14	0.12	0.11	0.2	0.2	
		*大日本除虫菊 所有の試験成績	大阪農技	0	—	< 0.05	< 0.05	< 0.1	< 0.1
				1	1	< 0.05	< 0.05	< 0.1	< 0.1
				1	7	< 0.05	< 0.05	< 0.1	< 0.1
				1	14	< 0.05	< 0.05	< 0.1	< 0.1
					香川県農業試験場 JR-0288J, JR-0289J		—		
オリーブ 露地 果実 平成20年度 平成21年度	乳剤(20%) 2000倍 500L/10a 散布	香川農試(小豆) (平成20年度)	0	—	< 0.08	< 0.08			
			2	7	2.70	2.54			
			2	14	2.25	2.21			
			2	21	1.86	1.86			
		(平成21年度)	0	—	< 0.08	< 0.08			
			2	7	1.65	1.57			
			2	14	1.14	1.11			
			2	21	1.18	1.14			
					山梨県総合農業試験場 JR-0239J		—		
かりん 露地 果実 平成15年度	水和剤(20%) 2000倍 長野: 816L/10a 山梨: 75 L/5 樹 散布 *:処理日に降雨が あったため、翌日に 再散布をおこなった。	長野農試(南信)	0	—	< 0.02	< 0.02			
			3*	3	1.31	1.27			
			3*	7	1.05	1.05			
			3*	14	1.04	1.03			
		山梨果樹試	0	—	< 0.02	< 0.02			
			3	3	0.74	0.72			
			3	7	0.52	0.52			
			3	14	0.68	0.68			
			3	21	0.28	0.28			

作物名 栽培形態 分析部位 年度	剤型(分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製場所 栽培情報	使用回数	経過日数	分析結果 (ppm)						
					公的分析機関		私的分析機関				
					最高値	平均値	最高値	平均値			
					香川県農業試験場 JR-0016J, JR-0017J		-				
さるなし 露地・無袋 果実全体 平成15年度 平成16年度	乳剤(20%) 2000倍 500 L/10 a 散布	香川農試(府中)	0	-	< 0.1	< 0.1					
			2	7	1.54	1.50					
			2	14	1.40	1.40					
			2	21	1.19	1.16					
			0	-	< 0.08	< 0.08					
			2	7	1.58	1.56					
			2	14	1.47	1.45					
			2	21	1.01	1.00					
					-		(株)化学分析コンサルタント JR-0269J, JR-0270J				
はまなす(果実) 露地 子実 平成19年度 平成20年度	乳剤(20%) 2000倍 200 L/10 a 散布	北海道上川農試 (平成19年度)	0	-			< 0.1	< 0.1			
			2	7			1.6	1.6			
			2	14			1.2	1.2			
			2	21			1.0	1.0			
			2	28			0.4	0.4			
		北海道花・ 野菜技術t (平成20年度)	0	-			< 0.1	< 0.1			
			2	7			0.8	0.8			
			2	14			0.8	0.8			
			2	21			0.6	0.6			
			2	28			0.5	0.5			
					(財)日本食品分析センター JR-0260J		-				
ごま 露地 種子 平成16年度	乳剤(20%) 2000倍 200 L/10 a 散布	長崎総農試 (諫早)	0	-	< 0.2	< 0.2					
			3	3	0.6	0.6					
			3	7	0.5	0.5					
			3	14	< 0.2	< 0.2					
			0	-	< 0.2	< 0.2					
		長崎総農試 (南高来)	3	3	0.3	0.3					
			3	7	0.4	0.4					
			3	14	0.4	0.4					
								-		(株)エコプロ・リサーチ JR-0243J	
			食用亜麻 露地 子実部 平成17年度	乳剤(20%) 2000倍 150 L/10 a 散布	北海道中央農試 (新十津川)	0	-			< 0.04	< 0.04
2	14						0.12	0.12			
2	21						0.08	0.08			
2	28						< 0.04	< 0.04			
0	-						< 0.04	< 0.04			
北海道中央農試 (月形町)	2	14					0.47	0.46			
	2	21					0.05	0.04			
	2	35					< 0.04	< 0.05			
						-		(一社)日本植物防疫協会 JR-0325J			
	*食用おぼこ(種子) 露地 種子 平成24年度 *ワイ化学㈱ 所有の試験成績	粒剤(0.1%) 3 kg/10 a 株元散布			日植防(茨城・阿見)	0	-	< 0.01	< 0.01		
3			7	< 0.01		< 0.01					
3			14	< 0.01		< 0.01					
3			21	< 0.01		< 0.01					
0			-	< 0.01		< 0.01					
日植防(茨城・牛久)			3	7	< 0.01	< 0.01					
			3	14	< 0.01	< 0.01					
			3	21	< 0.01	< 0.01					

作物名 栽培形態 分析部位 年度	剤型(分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製場所 栽培情報	使用回数	経過日数	分析結果 (ppm)				
					公的分析機関		私的分析機関		
					最高値	平均値	最高値	平均値	
					東京都農業試験場 JR-0071J		(財)残留農業研究所 JR-0070J		
くり 露地 果実 昭和52年度	乳剤(20%) 1000倍 (茨城) 500 L/10 a (東京) 3.2 L/樹 散布 2000倍 6L/樹	茨城園試	0	-	< 0.001	< 0.001	< 0.006	< 0.006	
			1	85	< 0.001	< 0.001	< 0.006	< 0.006	
		東京農試	0	-	< 0.001	< 0.001	< 0.006	< 0.006	
			1	85	< 0.001	< 0.001	< 0.006	< 0.006	
くり 露地 種実 昭和57年度	乳剤(20%) 1000倍 (石川) 500 L/10 a (山口) 400 L/10 a 散布	石川農試 (能登農枝)	0	-	< 0.008	< 0.008	< 0.005	< 0.005	
			5	14	< 0.008	< 0.008	< 0.005	< 0.005	
		山口農試	0	-	< 0.008	< 0.008	< 0.005	< 0.005	
			5	14	< 0.008	< 0.008	< 0.005	< 0.005	
クルミ 露地・無袋 果実 平成12年度	フロアブル(10%) 1500倍 500 L/10 a 散布	長野農総試	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	
			2	7	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	
			2	14	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	
			2	21	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	
クルミ 露地・無袋 果実 平成14年度	フロアブル(10%) 1500倍 500 L/10 a 散布	長野農総試	0	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	
			2	7	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	
			2	14	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	
			2	21	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	
茶 露地 業部 昭和54年度	乳剤(20%) 2000倍 200 L/10 a 散布	京都茶業研究所	0	-	0.02	0.02	< 0.04	< 0.04	
			1	14	9.81	9.40	9.15	9.04	
			1	21	6.44	6.34	5.29	4.98	
			1	28	3.32	3.27	2.58	2.48	
		奈良農試 (茶業分場)	0	-	< 0.02	< 0.02	< 0.04	< 0.04	
			1	14	3.40	3.35	3.16	3.12	
			1	21	1.45	1.38	1.41	1.39	
			1	28	0.60	0.58	0.60	0.58	
		浸出液	京都茶業研究所	0	-	< 0.02	< 0.02	< 0.004	< 0.004
				1	14	0.06	0.05	0.17	0.16
				1	21	0.04	0.04	0.09	0.09
				1	28	< 0.02	< 0.02	0.05	0.04
奈良農試 (茶業分場)	0	-	< 0.02	< 0.02	< 0.04	< 0.04			
	1	14	< 0.02	< 0.02	0.05	0.05			
	1	21	< 0.02	< 0.02	< 0.04	< 0.04			
	1	28	< 0.02	< 0.02	< 0.04	< 0.04			
しそ 施設 葉 昭和61年度	乳剤(20%) 4000倍 100 L/10 a 散布	愛知農総試 (豊橋市)	0	-	< 0.02	< 0.02			
			1	1	3.10	3.10			
			1	3	1.55	1.52			
			1	5	0.69	0.65			
			2	3	1.38	1.35			
			2	5	1.22	1.18			
			3	3	3.08	3.98			
			3	5	1.81	1.80			
			愛知農総試 (豊川市)	0	-	< 0.02	< 0.02		
				1	1	2.12	2.00		
				1	3	1.92	1.92		
				1	5	1.28	1.23		
		2	3	2.98	2.88				
		2	5	1.09	1.06				
		3	3	2.12	2.02				
		3	5	1.19	1.16				

作物名 栽培形態 分析部位 年度	剤型(成分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製場所 栽培情報	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)			
					公的分析機関		私的分析機関	
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(一社)日本植物防疫協会 JR-0327J		— —	
*飼料用とうもろこし 露地 株全体 平成25年度	粒剤(0.1%) 3 kg/10 a 株元散布	日植防(茨城)	0	—	< 0.01	< 0.01		
			4	14	< 0.01	< 0.01		
		日植防(千葉)	4	21	< 0.01	< 0.01		
			4	28	< 0.01	< 0.01		
*サライ化学㈱ 所有の試験成績		日植防(茨城)	0	—	< 0.01	< 0.01		
			4	14	< 0.01	< 0.01		
		日植防(千葉)	4	21	< 0.01	< 0.01		
			4	28	< 0.01	< 0.01		

【参考データ 1】

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は住友化学株式会社にある。

【参考データ 2】

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は住友化学株式会社にある。

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は住友化学株式会社にある。

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は住友化学株式会社にある。

2. 土壌残留性試験

(1) 分析法の原理と操作概要

① 容器内試験

試料をメタノールで抽出後、濃縮した残留物を一次元展開 TLC コクロマトグラフィーに供し、液体シンチレーションスペクトロメーターを用いて定量。

② 圃場試験

試料をメタノールで抽出後、濃縮した残留物をヘキサンに溶解しフロリジルカラムクロマトグラフィーで精製。調製した試験溶液は、ECD ガスクロマトグラフィーを用いて定量。

(2) 分析対象化合物

化学名： 3-フェノキシベンジル=(1*RS*, 3*RS*)-(1*RS*, 3*SR*)-3-(2, 2-ジクロロピニル)-2, 2-ジメチルシクロプロパンカルボキシラート

分子式： $C_{21}H_{20}Cl_2O_3$

分子量： 391.29

(3) 残留分析結果 (次頁)

(i) 畑地土壌（容器内試験）

① 半減期：日本植物防疫協会研究所-----*trans*-¹⁴Cペルメトリン；約6日

cis-¹⁴Cペルメトリン；約12日

滋賀県立農業試験場-----*trans*-¹⁴Cペルメトリン；約9日

cis-¹⁴Cペルメトリン；約12日

分析機関：住友化学工業株式会社

試料調製 及び 採取場所	被験物質の 処理方法		経過 日数	測定値 (mg/kg)			
	濃度	回数		最高値	平均値		
日本植物 防疫協会 研究所 (火山灰、軽埴土) 昭和50年	<i>trans</i> -ペルメトリン (¹⁴ C標識体) ¹⁾	メタノール溶液	1	0	1.11	1.10	
		100 μ L	1	1	1.03	0.99	
		100 μ L	1	3	0.79	0.78	
		土壌濃度： 1.1 μ g/g	1	9	0.36	0.35	
		25 \pm 2 $^{\circ}$ C	1	21	0.16	0.16	
		25 \pm 2 $^{\circ}$ C	1	45	0.08	0.08	
	<i>cis</i> -ペルメトリン (¹⁴ C標識体) ²⁾	メタノール溶液	1	0	1.08	1.08	
		100 μ L	1	1	1.08	1.08	
		100 μ L	1	3	0.96	0.94	
		100 μ L	1	9	0.68	0.64	
		土壌濃度： 1.1 μ g/g	1	21	0.49	0.43	
		25 \pm 2 $^{\circ}$ C	1	45	0.24	0.20	
	滋賀県立 農業試験場 (沖積、砂質埴土) 昭和50年	<i>trans</i> -ペルメトリン (¹⁴ C標識体) ¹⁾	メタノール溶液	1	0	0.98	0.98
			100 μ L	1	1	0.90	0.90
100 μ L			1	3	0.82	0.81	
100 μ L			1	9	0.48	0.38	
土壌濃度： 1.0 μ g/g			1	21	0.34	0.34	
25 \pm 2 $^{\circ}$ C			1	45	0.09	0.09	
<i>cis</i> -ペルメトリン (¹⁴ C標識体) ²⁾		メタノール溶液	1	0	0.98	0.97	
		100 μ L	1	1	0.98	0.98	
		100 μ L	1	3	0.87	0.84	
		100 μ L	1	9	0.60	0.56	
		土壌濃度： 1.0 μ g/g	1	21	0.31	0.30	
		25 \pm 2 $^{\circ}$ C	1	45	0.11	0.11	
			1	60	0.10	0.10	

1) ベンジル位標識体、放射化学的純度99.2%

2) ベンジル位標識体、放射化学的純度98.4%

(ii) 畑地土壌（圃場試験）

- ① 半減期：日本植物防疫協会研究所——約15日
 滋賀県立農業試験場——約11日

分析機関：住友化学工業株式会社

試料調製 及び 採取場所	被験物質の 処理方法		経過 日数	測定値 (mg/kg)	
	濃度	回数		最高値	平均値
日本植物 防疫協会 研究所 (火山灰、埴壤土) 昭和50年	乳剤(20%) 1000 倍 150 L/10 a	0	—	<0.005	<0.005
		5	0	0.159	0.157
		5	7	0.526	0.466
		5	14	0.277	0.259
		5	30	0.075	0.068
		5	60	0.055	0.050
		5	90	0.137	0.134
		5	120	0.053	0.048
		5	150	0.090	0.086
		5	180	0.045	0.044
滋賀県立 農業試験場 (沖積、埴土) 昭和50年	乳剤(20%) 2000 倍 200 L/10 a	0	—	<0.005	<0.005
		5	0	0.368	0.316
		5	7	0.492	0.451
		5	14	0.145	0.138
		5	30	0.105	0.085
		5	90	0.038	0.031
		5	130	0.041	0.040
		5	154	0.008	0.008
5	178	0.023	0.020		